

# 令和2年度決算に係る行政報告

地方自治法第233条第5項の規定により、令和2年度における各会計の主要な施策とその成果について報告します。

## 一般会計事業報告書

### 1 総括

令和2年度の国の予算編成においては、緩やかな景気回復基調の中、令和元年6月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019～『令和』新時代：『Society5.0』への挑戦～」、いわゆる「骨太の方針」のもと、消費税増収分を活用した社会保障の充実、総合経済対策の着実な実行、歳出改革の取り組み継続による「経済再生と財政健全化」を旗印に、一般会計総額で過去最大となる102兆6,580億円の予算が成立しました。

しかしながら、令和2年1月に日本国内で初の患者の発生が報告された新型コロナウイルス感染症が全国的な広がりを見せ、政府は同年4月、全国に緊急事態宣言を発出し、外出自粛、休業要請などにより人と人との接触を減らすよう呼びかけるとともに、4月の第1次補正予算で25兆6,914億円、6月の第2次補正予算で31兆9,114億円、令和3年1月の第3次補正予算では15兆4,271億円（いずれも一般会計）を措置し、感染症対策、医療・介護提供体制の確保・整備、国民・事業者の生活と雇用の維持などを進めてきましたが、令和2年度のGDP（国内総生産）の実質伸び率はマイナス4.6%と比較可能な1995年度以降最大の下落となるなど、経済への打撃は深刻であり、その感染状況においても未だ終息に向かっている状態ではなく、今後の経済情勢についても予断を許さない状況です。

地方財政においては、人づくり革命の実現や地方創生の推進、地域社会の維持・再生、防災・減災対策への取り組みとともに、安定的な財政運営に向け、地方交付税については総額で15兆5,926億円（前年比2.5%増）、市町村分では7兆961億円（同0.9%増）と前年並みが確保されたところです。また、国では、新型コロナウイルス感染症に起因する経済対策、生活支援策として1人当たり10万円の特別定額給付金を各自治体経由で給付したほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの関連対策経費を地方に交付し、住民や事業者の生活維持と経済活動の維持・回復を図ってきましたが、今後においては、新型コロナウイルス感染症に起因する経済活動の停滞・鈍化による税収の更なる落ち込みも想定され、地方財政にとっては厳しい状況も予想されます。

本町においても、これら新型コロナウイルス関連対策経費の交付により、歳入ベースで91億2,503万円と対前年度23.3%増の決算額となりましたが、国と同様、域内消費の冷え込み、地域経済の衰退が大きく懸念されることに加え、令和2年度の国勢調査人口が10,353人で5年前の前回調査時から473人の減となり、人口確保策はもとより、少子高齢化の進展に対応するための子育てや高齢者支援をはじめとした社会保障関連経費の増加への対応、地域経済の回復など課題は山積しており、状況は厳しさを増しているといえます。

そのような状況の中、ふるさと納税制度を活用した「かみふらのふるさと応援モニター制度」では過去最高となる3億686万円もの寄附をいただくなど地域ブランド力の向上と自主財源の確保に努めたほか、国からの新型コロナウイルス関連補助金等を活用し、感染対策をはじめ緊急経済対策、子育て世帯などへの支援、教育環境の整備など予算の重点化を図りながら各種施策を展開し、第6次上富良野町総合計画「かみふら未来ビジョン」に10年後にめざす姿として定めた将来像「暮らし輝き 交流あふれる 四季彩のまち・かみふらの」の実現と、将来にわたって持続可能な地域づくりに努めたところです。

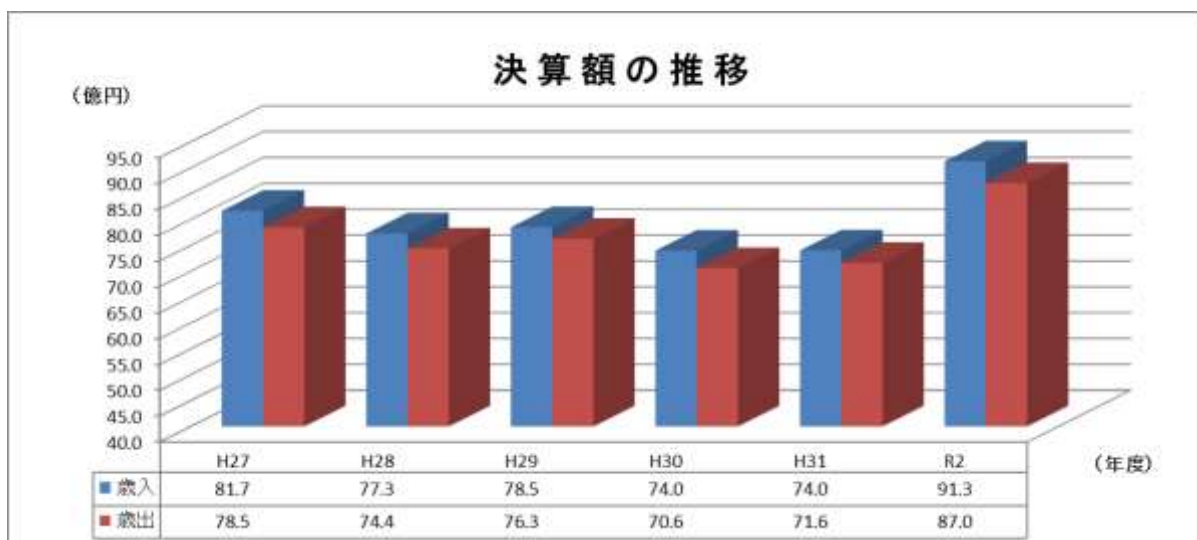
## 2 決算の概要

### (1) 収支の状況

一般会計の決算状況は歳入歳出ともに前年度から増加し、歳入総額は91億2,503万円で（前年度対比17億2,272万円増・23.3%増）、歳出総額は87億401万円（同15億4,263万円増・21.5%増）で、歳入歳出差引額4億2,102万円（同1億8,009万円増）、実質収支額では4億1,226万円（同1億7,598万円増）の黒字となりました。

区 分	令和2年度	平成31年度	増減額	増減率
歳入総額	91億2,503万円	74億231万円	17億2,272万円	23.3
歳出総額	87億401万円	71億6,138万円	15億4,263万円	21.5
差 引	4億2,102万円	2億4,093万円	1億8,009万円	74.7
実質収支	4億1,226万円	2億3,628万円	1億7,598万円	74.5

※端数整理のため各項目の合計と集計の欄の数値が合致しない場合があります。



予算額に対する収入割合は94.4%、調定額に対しては93.5%となっています。収入未済額は6億3,345万円で、内訳は町税分2,341万円、税外収入分6億1,004万円（繰越明許費分6億858万円）となっており、不納欠損処分額は82万円、税の徴収率については97.7%（現年度分98.4%、滞納分8.9%）で、前年度より1.5%減少しました。



## (2) 歳入の状況

### 歳入 款別前年度比較

(単位:千円/%)

歳入科目		令和2年度	平成31年度	比較	対比	前年対比±5%以上の主な増減理由 (単位:百万円)
1	町税	1,023,684	1,026,152	▲ 2,468	▲ 0.2	
2	地方譲与税	129,887	125,493	4,394	3.5	
3	利子割交付金	1,035	874	161	18.4	利子割交付金の増
4	配当割交付金	2,509	2,855	▲ 346	▲ 12.1	配当割交付金の減
5	株式等譲渡 所得割交付金	3,057	1,862	1,195	64.2	株式等譲渡所得割交付金の増
6	地方消費税交付金	256,648	211,553	45,095	21.3	地方消費税交付金の増
7	国有提供施設等所在 市町村助成交付金	57,657	59,934	▲ 2,277	▲ 3.8	
8	自動車取得税交付金	8,411	17,333	▲ 8,922	▲ 51.5	自動車取得税交付金▲13 自動車税環境性能割交付金4
9	地方特例交付金	8,716	7,269	1,447	19.9	自動車税減収補てん特例交付金1
10	地方交付税	3,002,518	2,893,717	108,801	3.8	
11	交通安全対策特別交付金	1,635	1,520	115	7.6	交通安全対策特別交付金の増
12	分担金及び負担金	7,157	6,972	185	2.7	
13	使用料及び手数料	145,112	146,105	▲ 993	▲ 0.7	
14	国庫支出金	2,435,727	922,026	1,513,701	164.2	障害者自立支援給付費17 教育・保育給付費負担 18 特別定額給付金補助1,055 地方創生推進交付 金14 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時 交付金355 子育て世帯への臨時特別給付金14 農 業経営高度化促進事業(道営促進費)▲19 東1線 排水路整備▲23 道路更新防災等対策事業費補助 43 公立学校情報機器整備費補助25
15	道支出金	634,976	615,746	19,230	3.1	
16	財産収入	14,989	13,311	1,678	12.6	町有林伐材売払▲2
17	寄附金	329,775	239,483	90,292	37.7	ふるさとモニター72 一般4 企業14
18	繰入金	234,053	232,278	1,775	0.8	
19	繰越金	240,928	338,705	▲ 97,777	▲ 28.9	繰越金の減
20	諸収入	197,900	203,395	▲ 5,495	▲ 2.7	
21	町債	384,298	335,725	48,573	14.5	防災用自家発電設備設置41 北17号道路道営農地 整備▲11 上富良野地区道営農村地域防災減災▲ 15 経営体育成基盤整備▲35 道営草地畜産基盤 整備11 橋梁長寿命化修繕17 河川災害防止対策 15 減収補てん債13
22	法人事業税交付金	4,355	0	4,355	皆増	
合計		9,125,027	7,402,308	1,722,719	23.3	

※端数整理のため合計額は整合しない

歳入については、町税では個人町民税、軽自動車税を除き、法人町民税、固定資産税、たばこ税、入湯税のいずれも減少し、前年度決算額と比較して0.2%の減となりました。

地方消費税交付金については、消費税率の引き上げにより前年度決算額と比較して21.3%の増となりました。なお、地方消費税交付金はその用途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

令和2年度 一般会計決算における地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられた社会保障施策の経費

社会保障4経費 その他社会保障 施策に要する 経費	財源内訳				
	特定財源			一般財源	
	国庫支出金	道支出金	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他
2,101,948	514,060	347,256	47,987	132,000	1,060,645

自動車取得税交付金については、令和元年10月1日の税制改正により自動車取得税が廃止され、新たに自動車税環境性能割交付金が設けられましたが、環境性能割の軽減措置等の影響もあり、総額では51.5%の減となりました。

地方交付税のうち特別交付税では2.4%の増、普通交付税においては地方債償還費の基準財政需要額への算入増などにより3.9%の増となり、合計で前年度決算額と比較して3.8%増となりました。国庫支出金では、特別定額給付金をはじめとした新型コロナウイルス感染症対策関連経費の交付により前年度決算額と比較して15億1,370万円、164.2%の増となったほか、道支出金についても新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の交付などにより3.1%の増、寄附金においては、ふるさと納税制度を活用した「かみふらのふるさと応援モニター」を通じて多くの寄附をいただき37.7%の増となりました。

歳入一般財源は町税や繰越金が減となったものの、地方消費税交付金や地方交付税の増により9.9%の増となり、歳入総額においては23.3%の増となりました。

国の補正予算等により拡充・新設された新型コロナウイルス感染症対策関連補助金決算額  
(単位：千円)

歳入区分	名称	交付額
国庫補助金	特別定額給付金補助	1,054,747
〃	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	355,168
〃	保育総合支援事業補助（保育環境改善等事業）	98
〃	子育て世帯への臨時特別給付金補助	14,203
〃	子ども子育て支援交付金	6,300
〃	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助	2,047
〃	学校保健特別対策事業補助	4,636
〃	公立学校情報機器整備費補助	24,930
道補助金	ひとり親世帯臨時特別給付金事務費補助	138
〃	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金	10,423
合 計		1,472,690

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業決算額

(単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳	
		臨時交付金	その他
高度無線環境整備	33,969	33,969	
富良野広域連合負担 (救急活動感染症予防資機材整備)	3,179	3,179	
新生児特別定額給付金	5,400	5,400	
指定避難所感染防止対策資材整備	17,823	17,823	
高齢者入所施設・障害福祉サービス事業所 感染症対策環境整備	1,100	1,100	
子育て世帯応援	15,867	15,867	
子育て支援従事者応援給付	1,290	1,290	
子ども・子育て支援交付金地方負担分 (放課後児童健全育成事業利用料減免分)	70	70	
障害者総合支援事業費補助金地方負担分 (特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後 等デイサービスへの支援等事業)	5	5	
町立病院会計補助	1,968	1,968	
スマート農業促進特別対策	13,630	13,630	
経営環境対応特別融資資金利子等補給	4,373	4,373	
中小企業経営継続奨励助成	69,700	69,700	
経営継続及び新スタイル導入促進	6,854	6,854	
商工業者持続化事業補助	18,768	18,768	
プレミアム付き商品券発行	69,487	69,487	
商工業販売促進(おうちでグルメ上富良野)	11,309	11,309	
観光誘客促進支援	41,340	41,340	
宿泊施設支援金交付	3,000	3,000	
GIGA スクール端末等導入	54,505	29,575	24,930
学校備品等整備	710	710	
学校保健特別対策	9,302	4,640	4,662
図書館蔵書用消毒・滅菌機器購入	1,111	1,111	
合 計	384,760	355,168	29,592

※上記 355,168 千円のほか、繰越明許分 157,971 千円  
令和 2 年度交付決定総額 513,139 千円

### (3) 歳出の状況

#### 歳出 款別前年度比較

(単位:千円/%)

歳出科目		令和2年度	平成31年度	比較	対比	主な増減理由 (単位:百万円)
1	議会費	57,263	58,805	▲ 1,542	▲ 2.6	費用弁償▲1
2	総務費	2,323,941	1,154,349	1,169,592	101.3	高度無線環境整備34 財政調整基金積立34 調整交付金事業基金積立▲20 公共施設整備基金積立▲47 役場庁舎温風暖房機・温水ボイラー更新15 十勝岳と共生するまちづくり応援基金積立▲34 ふるさと応援寄附モニター86 特別定額給付金事業1,060 防災用自家発電設備設置・改修25 防災資機材整備事業用備品12
3	民生費	1,580,112	1,560,055	20,057	1.3	プレミアム付き商品券▲8 保健福祉総合センター地中熱設備導入調査▲10 介護福祉施設整備▲6 介護保険特別会計繰出21 障害者自立支援11 教育・保育給付▲18 子育て世帯応援16 子育て世帯への臨時特別給付金給付14
4	衛生費	796,901	833,327	▲ 36,426	▲ 4.4	町立病院補助等25 国民健康保険特別会計繰出▲11 子ども医療給付▲10 葬斎場火葬炉補修4 クリーンセンター管理費▲35 合併浄化槽整備▲11
5	労働費	656	593	63	10.6	
6	農林業費	631,013	679,915	▲ 48,902	▲ 7.2	環境保全型農業直接支援対策5 畑作構造転換6 食料産業・6次産業化支援11 スマート農業推進対策14 道営草地畜産基盤整備12 島津2地区道営農業水利施設保全合理化16 北17号道路道営農地整備▲12 上富良野地区道営農村地域防災減災▲8 経営体育成基盤整備▲93
7	商工費	415,021	198,019	217,002	109.6	産業賑わい協議会負担3 中小企業融資資金利子等補給・貸付9 経営継続及び新スタイル導入促進7 中小企業経営継続奨励助成68 商工業販売促進11 商工業者持続化補助17 プレミアム付き商品券発行56 宿泊施設支援金交付3 観光誘客促進支援41
8	土木費	818,549	697,902	120,647	17.3	町道維持53 町道改良舗装▲29 北24号道路舗装補修13 橋梁長寿命化修繕35 河川護岸補修15 南部地区土砂流出対策18 東1線排水路整備▲23 島津公園整備13 日の出公園整備28
9	教育費	442,380	316,198	126,182	39.9	教務用パソコン整備3 校務支援システム▲4 教職員住宅改修3 ICT教育推進71 教育用コンピュータ整備▲14 上富良野中学校楽器購入7 放課後児童健全育成9 児童生徒教育振興基金積立▲6 運動公園テニスコート改修58
10	公債費	784,819	756,839	27,980	3.7	
11	給与費	853,358	905,378	▲ 52,020	▲ 5.7	
合計		8,704,013	7,161,380	1,542,633	21.5	

※端数整理のため合計額は整合しない

歳出については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う特別定額給付金をはじめとする給付事業や経済対策事業などの実施により、全体で21.5%の増となりました。

人件費(0.7%増)、扶助費(4.9%増)、公債費(3.7%増)の義務的経費では全体で3.0%増加しています。

物件費ではふるさと応援寄附モニター事業の経費などで増額となったほか、公共施設や各学校における新型コロナウイルス感染症対策のための物品等の購入により8.6%の増となっています。

補助費等についても、特別定額給付金の交付、子育て家庭や町内事業者への支援、地域経済回復に向けた各種助成などの新型コロナウイルス関連事業の実施により103.2%の増となったほか、普通建設事業費においても高度無線環境整備やICT教育推進などポストコロナに向けた関連事業の実施などにより16.0%の増となりました。

## 歳出 性質別前年度比較

(単位:千円/%)

性質区分	令和2年度	平成31年度	比較	対比	前年対比±10%以上の主な増減理由 (単位:百万円)
1 人件費	1,018,824	1,012,206	6,618	0.7	
2 物件費	1,162,855	1,070,738	92,117	8.6	
3 維持補修費	33,290	22,572	10,718	47.5	庁舎施設等管理1 保健福祉総合センター管理1 島津ふれあい構造センター屋根塗装▲1 町道維持▲2 公園管理2 町営住宅管理1 小学校管理3 分館管理3 社会教育総合センター管理2
4 扶助費	986,899	940,535	46,364	4.9	
5 補助費等	2,507,522	1,234,306	1,273,216	103.2	特別定額給付金1,049 子育て世帯応援事業16 前年度教育・保育給付費負担返還金▲44 子育て世帯への臨時特別給付金13 町立病院補助・負担21 食料産業・6次産業化支援11 スマート農業推進対策14 中小企業経営継続奨励助成68 商工業販売促進11 商工業者持続化補助17 プレミアム付き商品券発行56 観光誘客促進支援41
6 普通建設事業費	1,111,003	957,503	153,500	16.0	高度無線環境整備34 役場庁舎温風暖房機・温水ボイラー更新15 防災用自家発電設備設置・改修25 防災資機材整備事業用備品12 クリーンセンター整備▲34 道営草地畜産基盤整備12 島津2地区道営農業水利施設保全合理化16 北17号道路道営農地整備▲12 経営体育成基盤整備▲93 町道維持▲13 町道改良舗装▲29 北24号道路舗装補修13 橋梁長寿命化修繕35 河川護岸補修15 南部地区土砂流出対策20 東1線排水路整備▲24 島津公園整備13 日の出公園整備28 ICT教育推進71 教育用コンピュータ整備▲14 運動公園テニスコート改修58
7 公債費	784,742	756,664	28,078	3.7	
8 積立金	292,318	374,113	▲ 81,795	▲ 21.9	財政調整基金34 調整交付金事業基金▲20 公共施設整備基金▲47 ラベンダーの里かみふらの応援基金▲5 十勝岳と共生するまちづくり応援基金▲34 地域福祉基金▲2 森林環境譲与税基金▲2 児童生徒教育振興基金▲6
9 投資及び出資金	12,050	8,533	3,517	41.2	病院事業会計出資4
10 貸付金	81,360	77,407	3,953	5.1	
11 繰出金	713,150	706,803	6,347	0.9	
合計	8,704,013	7,161,380	1,542,633	21.5	

※端数整理のため合計額は整合しない

## (4) 財政指標

### 財政指標前年度比較

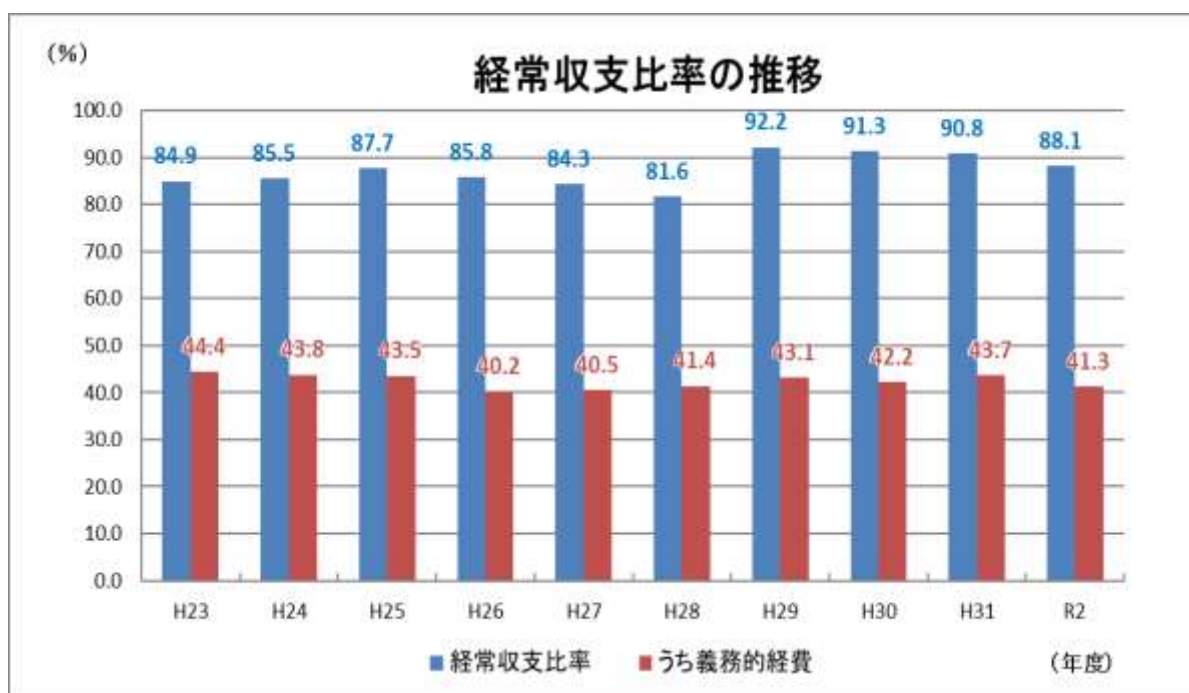
(単位:%)

名称	令和2年度	平成31年度	比較	主な増減理由
経常収支比率 (減税補てん債、臨時財政対策債を経常一般財源とした場合)	88.1	90.8	▲ 2.7	歳入経常一般財源の増、人件費(経常)の減
経常収支比率	91.0	93.9	▲ 2.9	同上
実質公債費比率	6.5	7.5	▲ 1.0	債務負担行為(しろがね地区負担金対策事業)の完了による減
起債制限比率	2.5	2.2	0.3	地方債元利償還金充当一般財源の増
公債費比率	6.2	5.9	0.3	同上
公債費負担比率	12.8	13.6	▲ 0.8	歳入一般財源の増

### ① 経常収支比率

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は88.1%で、前年度に比べて2.7%下がりました。これは、義務的経費をはじめとする経常経費が全体的に増えている一方で、歳入経常一般財源である普通交付税の増のほか、人件費（経常的なもの）が減となったことなどが主な要因といえます。

経常収支比率はここ数年減少で推移してきていますが、依然として高い水準であり、財政のさらなる硬直化が懸念されるところです。今後は近年、集中的に整備を進めた学校や町営住宅の地方債償還額が増えることから徐々に上昇していく見込みです。



### ② 実質公債費比率

実質公債費比率は6.5%で、前年度と比べて1.0%下がりました。この指標は3年間の平均値のため、平成29年度に完了したしろがね地区負担金対策事業の影響が今年度からなくなったことが要因としてあげられます。

### ③ 起債制限比率

従来の方債の許可制限に係る指標として用いられていた起債制限比率は2.5%で、前年度と比べて0.3%上がりました。公債費の増加が要因としてあげられます。

### ④ 公債費比率

公債費の一般財源に占める割合を示す公債費比率は6.2%となり、前年度と比べて0.3%上がりました。要因としては災害復旧事業債、全国防災事業債の償還が増加していることがあげられます。

### ⑤ 公債費負担比率

公債費に充当された一般財源の一般財源総額に占める割合を示す公債費負担比率については、12.8%と前年度と比べて0.8%下がりました。要因としては公債費は増えたものの、普通交付税をはじめとする歳入一般財源が増加したことがあげられます。



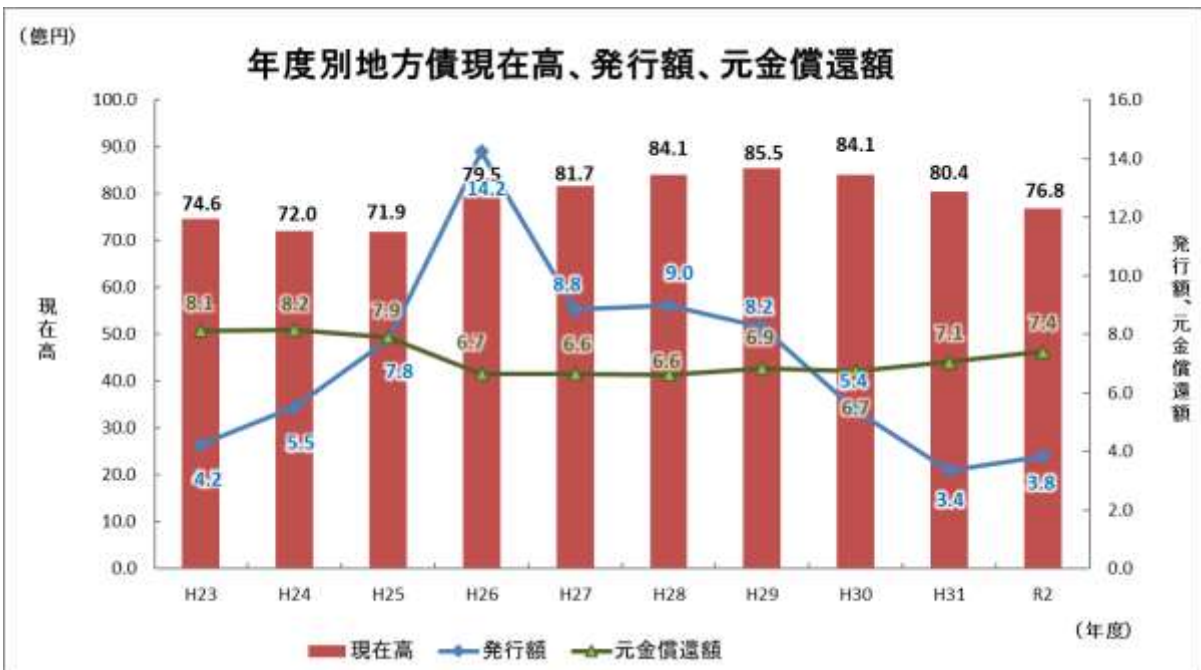


## (5) 地方債及び積立金現在高

### ① 地方債現在高

令和2年度末の地方債の現在高は 76 億 8,425 万円で、前年度と比較して 3 億 5,657 万円減少しています。地方債発行額は社会教育総合センター、保健福祉総合センターの防災用自家発電設備設置、河川災害防止のための護岸補修の新規発行、橋梁長寿命化修繕における発行額の増加により前年対比 4,857 万円の増加となっています。

H31 末現在高	R2 地方債発行額	R2 元金償還額	R2 末現在高
80 億 4,082 万円	3 億 8,430 万円	7 億 4,086 万円	76 億 8,425 万円



## ② 積立金現在高

令和2年度末の積立金現在高は 24 億 703 万円で、前年度と比較して 7,017 万円増加しています。特定目的基金は公共施設整備基金、十勝岳と共生するまちづくり応援基金など 1 億 8,828 万円を積み立てています。

	H31 末現在高	R2 支消額	R2 積立額	R2 末現在高
財政調整基金	5 億 2,438 万円	1 億 400 万円	1 億 402 万円	5 億 2,440 万円
減債基金	2 億 721 万円	0 万円	2 万円	2 億 723 万円
特定目的基金	16 億 527 万円	1 億 1,815 万円	1 億 8,828 万円	16 億 7,540 万円
合計	23 億 3,686 万円	2 億 2,215 万円	2 億 9,232 万円	24 億 703 万円



## (6) 職員数の推移

職員数については職員数適正化計画に基づき一般会計分で 108 人、前年度と比較して 1 人減となっています。5 年前の平成 27 年度と比較すると 1 人の減少となっていますが、人件費（投資的事業支弁分も含む）については 3,300 万円、3.2%の増となっています。



## 議 会 費

### 議 会 費

#### 本 会 議

○議員定数 14人(平成19年8月選挙より)

#### ○町議会の開催

- ・定例町議会 4回 11日間(前年度 4回 11日間)  
傍聴者 103人(前年度 同数)  
一般質問者 延べ27人(前年度 同数)
- ・臨時町議会 7回 7日間(前年度 9回 9日間)

#### 各委員会等の活動

#### ○常任委員会の開催

- ・総務産建常任委員会(7人) 15回(前年度 13回)
- ・厚生文教常任委員会(7人) 13回(前年度 10回)

○議会運営委員会の開催(6人) 20回(前年度 18回)

○全員協議会の開催(14人) 18回(前年度 20回)

#### ○特別委員会の開催

- ・議会広報特別委員会(6人) 19回(前年度 21回)
- ・決算特別委員会(11人) 1回 3日間(前年度 1回 3日間)
- ・予算特別委員会(13人) 1回 4日間(前年度 1回 4日間)

#### 各 事 業 等

#### ○調査視察、研修活動

- ・全議員 2回 2日間(前年度 3回 4日間)
- ・常任委員会(厚生文教) 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 実績なし)
- ・議会運営委員会 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 1回 2日間)
- ・議会広報特別委員会 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 実績なし)

#### ○議会懇談会 実績なし

(新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 2回 2日間 5カ所 94人)

#### ○町内行政調査 実績なし

(新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 1回 1日間 8カ所)

#### ○議会広報の発行

- ・発行回数 4回(毎定例会後)
- ・発行部数 4,200部
- ・印刷経費 1,005千円(前年度 1,050千円)

#### ○会議録の反訳

- ・委託経費 2,316千円(前年度 1,960千円)

※臨時会については、議会事務局が反訳、印刷製本を行っている。

# 総務費

## 総務管理費

### 行財政改革の推進

第6次総合計画の前期基本計画に合わせた、令和元年度から令和5年度までの5年間を推進期間として「町政運営推進プラン」を策定し、自治基本条例や第6次総合計画に掲げる自主自律のまちづくりを継続して推進するために、町民と行政がつながり力を合わせる「協働のまちづくり」と、行政運営の安定化・効率化のための「効果的な行財政運営」の2つの柱をベースとして重点的な項目を設定し、職員の行政運営に対する意識の醸成を図るとともに、その着実な進行管理を行っていくため、年次目標を掲げ、達成状況を毎年度確認のうえ、見直すこととしている。

#### ○実践成果

2つの基本項目、4つの推進項目に基づき、実践スケジュールに沿って取組みを進めた。

基本項目	推進項目	実践の成果等
協働によるまちづくり	積極的な情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政情報の公開と共有</li> <li>広報、広聴活動の強化</li> </ul>
	協力体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域支えあいの仕組みづくり</li> <li>町民の参画機会の拡充</li> </ul>
効率的な行財政運営	行財政手法の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>創意工夫を加えた事務事業の実践</li> <li>健全な財政構造の維持</li> <li>適正な受益者負担と自主財源の確保</li> <li>計画的な行政運営</li> </ul>
	行財政運営の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の資質向上</li> <li>組織体制の強化</li> <li>公共施設の効果的な管理運営</li> <li>情報通信技術(ICT)の利活用</li> <li>民間資源の活用</li> </ul>

#### ○上富良野町総合教育会議

11月26日開催

### 情報公開・個人情報保護

#### ○情報公開制度

情報公開等の請求件数 2件うち公開1件(前年度 7件うち公開5件)

#### ○個人情報保護制度

- ・個人情報保護に関する職員研修実施(新規採用職員)
- ・情報開示等の請求件数 2件うち開示2件(前年度 2件うち開示1件)

#### ○情報公開・個人情報審査会 実績なし(前年度 1回)

### 情報化の推進

#### ○行政ホームページの更新と充実

年間トップページアクセス件数 119,149件(前年度 94,649件)

サイト内全体 2,603千件(前年度 2,389千件)

#### ○高度無線環境整備事業

設計費 33,969千円

#### ○農村部 FWA 施設設備等更新

バッテリー交換 6,523千円

自治基本条例	<p>○自治基本条例に基づく協働のまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働のまちづくり推進委員会（委員 11 人） 会議 3 回（7 月 7 日、8 月 25 日、11 月 9 日）（前年度 4 回）</li> <li>・まちづくりフォーラム 実績なし （新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 2 回）</li> <li>・地域コミュニティ活性化会議 実績なし （新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 1 回 59 人）</li> <li>・協働のまちづくり推進補助金（住民会関係以外）実績なし （前年度 2 件 218 千円）</li> </ul>
広報活動	<p>○広報かみふらのの発行 3,622 千円(前年度 3,583 千円) 毎月 2 回（1 月は 1 回）計 23 回発行（3 月 25 日号発送分 3,800 部）</p> <p>《町の行財政施策》 「町政及び教育行政執行方針」「平成31年度決算一般会計・特別会計・企業会計」など。</p> <p>《保健福祉・教育・交流関係》 「特定健診を受けて自分の体を知ろう」「サルコペニアの重症化を予防しよう」「図書館ふれんどへ行こう！」「上富良野町立病院改築基本構想」「正しく知り、正しく恐れる新型コロナウイルス感染症」「上富良野町成人式」「GIGAスクール構想」など。</p> <p>《生活・防災・自治活動》 「下水道使用料が改定されます」「町内会に加入しませんか？」「地震や台風、大雨などの『災害への備え』はできていますか？」「住民会長との町政懇談会」など。</p> <p>《産業・観光》 「ロケツーリズムの取り組み」「おうちでグルメ上富良野」「かみふらの宿泊町民割キャンペーン」「映画『泥流地帯』本格始動」「3月1日始動ロケサポートかみふらの」「十勝岳ジオパーク構想通信」など。</p> <p>《その他》 「新型コロナウイルス感染症に関わる支援制度」「上富良野町長・町議会議員補欠選挙結果」「かみふらの10大ニュース」「町長と語ろう」など。</p> <p>《有料広告の掲載》 ・申込者 5 件 8 コマ 広告収入 40 千円(前年度 1 件 1 コマ 5 千円)</p> <p>○防災行政無線による「行政だより」の放送</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声の広報として防災無線（戸別受信機）を活用し、定時放送で全戸に行政情報や行事等の開催のお知らせ、また、夕方と定時放送（ただし、届出日に通夜・葬儀の場合のみお昼の臨時放送）におくやみ放送を実施した。</li> <li>・聴覚障害者等に対するFAX送信サービス 2 件(前年度 同数)</li> </ul> <p>○くらしの便利帳 （株）サイネックスと協定を締結し、広報紙と共に全戸配付した。</p>
広聴活動	<p>○町民ポスト 28 件うち電子版 8 件(前年度 9 件うち電子版 1 件) 町内 9 カ所（役場、かみん、社教センター、町立病院、公民館、農協、中茶屋、上富良野駅、郵便局）に設置。</p> <p>○出前講座 9 回開催 4 講座 7 団体 165 人 （前年度 34 回 12 講座 27 団体 1,238 人）</p>

- まちづくりトーク 1回(前年度 実績なし)  
 テーマ「町立病院改築基本構想」 10月15日～16日 計51人
- 町長と語ろう 1回(前年度 実績なし)  
 テーマ「子育てに関すること」 2月8日 9人

財 産 管 理

○財産台帳の整理(町道を除く。令和3年3月31日現在)

		令和2年度	平成31年度
行政財産	建物	183件	183件
	土地	1,530,134.07㎡	1,520,300.84㎡
普通財産	建物	59件	61件
	土地	1,684,125.95㎡	1,686,055.32㎡

《主な異動物件》

- ・敷地錯誤のため修正
- ・江幌コミュニティ維持住宅売払い
- ・日の出公園駐車場用地の取得
- 江幌コミュニティ住宅売払い
  - ・分筆登記 495千円
- 携帯電話伝送路移設工事 4,840千円
- 庁舎施設等の管理
  - ・役場車庫シャッター修理 259千円
  - ・サーバー室空調機修理 308千円
  - ・消防大集会室ワイヤレス放送設備【調整交付金事業】 482千円
- 車両の適切な管理
  - ・所有台数
    - 乗用車(ライトバン含む) 25台(前年度 同数)
    - 軽乗用車(トラック含む) 20台(前年度 同数)
    - トラック(大型・小型) 9台(前年度 同数)
    - バス(大型・中型・マイクロ) 8台(前年度 同数)
    - 大型・特殊車両(建設重機) 15台(前年度 同数)
  - ・ドライブレコーダー設置 2,158千円、33台
  - ・町長車更新 6,150千円
- 備品
  - 後藤純男画伯寄贈作品 本画136点、素描235点(前年度 同数)
  - 貸出承認 首相官邸(9月25日～11月21日)1点
  - 東急百貨店(10月1日～12月31日)23点
  - 首相官邸(11月14日～4月30日)1点
  - 首相官邸(12月12日～4月30日)1点
  - 首相官邸(3月16日～9月30日)1点

財 政 状 況 の 公 表

- 財政状況の公表
  - 町広報紙、行政ホームページで予算、決算等財政状況について公表した。
- 公会計システムの運用
- 「知っておきたいことしのしごと」の作成
  - 広報紙と共に全戸へ配付した。

基 地 対 策

- 演習場周辺対策
  - ・中央要望 1件(前年度 4件)

- 道内要望 3件(前年度 3件)
  - 演習場周辺地区整備補助(演習場周辺地区自治活動奨励事業補助)  
3件 381千円(前年度 2件 371千円)
  - 上富良野町基地対策協議会負担 400千円(前年度 同額)
  - 北海道基地協議会負担 30千円(前年度 54千円)
  - 全国基地協議会負担  
0円(新型コロナウイルスの影響により負担なし 前年度 5千円)
  - 防衛施設周辺整備全国協議会負担  
0円(新型コロナウイルスの影響により負担なし 前年度 13千円)
- 駐屯地との共存共栄及び現状規模堅持の取組  
富良野地方自衛隊協力会構成の6市町村、自衛隊協力会支部及び北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会による要望活動を行った。
- 中央要望 3回(前年度 6回)
  - 北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会負担 7千円(前年度 同額)
  - 富良野地方自衛隊協力会補助 1,920千円(前年度 2,670千円)
  - 富良野地方自衛隊協力会上富良野支部補助 1,350千円(前年度 同額)
- 自衛官募集  
町広報紙への掲載とともに自衛隊と連携のもと自衛官募集に努めた。
- 募集事務市町村委託費 85千円(前年度 77千円)
  - 町内入隊予定者 6名(R3)(前年度 15名(R2))
- 自衛隊退職者雇用  
自衛隊退職者の雇用に関して、引き続き、道北地区援護センター上富良野分室(駐屯地内)との連携を図り、雇用の場の確保に努めた。
- 上富良野駐屯地関係定年退職者 12名(R2)(前年度 33名(R1))
  - 富良野地方自衛隊退職者雇用協議会連合会負担 129千円(前年度 同額)
  - 上富良野町自衛隊退職者雇用協議会負担 37千円(前年度 同額)
- 基地調整員の配置  
基地調整員(1名)を配置し、駐屯地との調整を円滑に進めるとともに自衛隊協力会関係の事務局として、各市町村及び会員との連絡調整を図った。
- 駐屯地との連絡調整  
防衛施設区域取得等事務地方公共団体委託費 460千円(前年度 同額)
- 主な関係する記念行事などへの出席 2件(前年度 17件)
- 天塩町対着上陸戦闘研修 8月28日
  - 北海道殉職隊員追悼式(真駒内駐屯地) 10月24日
- 新型コロナウイルスの影響により16件行事中止
- 北部方面後方支援隊創隊20周年記念
  - 上富良野駐屯地創立65周年記念
  - 第2師団創立70周年及び旭川駐屯地開設68周年記念
  - 第1特科団創隊及び北千歳駐屯地68周年記念
  - 島松駐屯地及び北海道補給処創立68周年記念
  - 旭川地方協力本部創立14周年記念
  - 釧路駐屯地創立67周年記念
  - 航空自衛隊千歳基地航空祭
  - 第3地对艦ミサイル連隊創隊26周年記念
  - 第2後方支援連隊創立32周年記念
  - 第3施設団創立59周年記念(南恵庭駐屯地)
  - 北部方面隊創隊68周年記念

- ・足寄弾薬支処及び足寄分屯地創立27周年記念
- ・多田弾薬支処創立64周年記念
- ・第10師団創立58周年記念
- ・第2戦車連隊創隊25周年記念

町有林の管理

- 町有林管理事業 町有林面積 187.27ha(前年度 同数)
- 町有林整備 5,632千円(前年度 6,131千円)
- ・造林 実績なし(前年度 4.68ha、3,135千円)
  - ・間伐 6.32ha 2,475千円(前年度 5.61ha 1,808千円)
  - ・皆伐 1.24ha 1,298千円(前年度 実績なし)
  - ・下刈 15.23ha 1,859千円(前年度 11.22ha 1,188千円)

生活安全対策

- 上富良野町交通事故、犯罪発生件数

	令和2年度	平成31年度
交通事故発生件数	213件	308件
犯罪発生件数	17件	20件

- 上富良野町生活安全推進協議会負担金 3,741千円(前年度 3,379千円)
- 内訳 交通安全部負担 15人 2,895千円(前年度 14人 2,500千円)
- 女性部負担 5人 97千円(前年度 6人 151千円)
- 地域安全部負担 13人 218千円(前年度 13人 231千円)
- 死亡事故ゼロ4000日達成事業費 39千円
- その他上部団体加盟負担金等 492千円(前年度 497千円)

- 生活灯補助 1,848千円(前年度 2,343千円)

			令和2年度	平成31年度
電気料金	第1種 (補助率70%)	灯数	104基	104基
		補助額	568千円	677千円
	第2種 (補助率50%)	灯数	870基	855基
		補助額	1,209千円	1,326千円
生活灯新設等	新設		5基	16基
	修繕		—	—
	改修		—	—
	移設		—	—
	補助額		71千円	340千円

町表彰(叙勲・褒章)

- 叙位叙勲褒章受賞者 9人(前年度 13人)

- ・高齢者叙勲 2人
- ・危険業務従事者叙勲 4人
- ・瑞宝双光章 1人
- ・瑞宝单光章 1人
- ・特別叙勲 1人

- 町表彰式(11月3日)被表彰者人数

- ・自治功勞表彰 1人(前年度 該当なし)
- ・社会貢献賞 4人(前年度 2人)
- ・善行表彰 1人(前年度 該当なし)

- 被表彰者記念品等 201千円(前年度 238千円)

- 名誉町民年金 該当なし(前年度 300千円)



自治会活動推進	<p>○感謝状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄 附 1個人 4団体(前年度 1個人 2団体)</li> <li>・永年勤続 1人(前年度 9人)</li> </ul> <p>○協働のまちづくり推進補助金(住民会関係) 11件 1,242千円(前年度 5件 642千円)</p> <p>○住民自治活動推進交付金 25住民会 8,262千円(前年度 8,272千円)</p> <p>○住民会長との町政懇談会 3回(4月書面開催、11月20日、1月28日)(前年度 同数)</p> <p>○住民会長連合会との情報交換会 実績なし(新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 1回)</p>
地域振興	<p>○第6次上富良野町総合計画の推進 平成31年度からの10年間を計画期間とする第6次上富良野町総合計画に係るベンチマークを設定し、進行管理に努める。(6施策82項目)</p> <p>○地方版総合戦略の推進 まち・ひと・しごと創生会議の開催 1回(前年度 3回)</p> <p>○要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要望書受理件数 17件(前年度 12件)</li> <li>・要望回答件数 4件(回答を要するもののみ)(前年度 3件)</li> <li>・要望行動を行った期成会等 : 上川地方総合開発期成会 旭川十勝道路整備促進期成会 富良野圏域連携協議会 過疎法適用外小規模町村連絡会議 主要道道芦別美瑛線整備促進期成会 主要道道美唄富良野線整備促進期成会</li> <li>・道議会議員への要望活動(町独自) 地域選出議員 3氏</li> </ul> <p>○土地利用規制等対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村交付金 77千円(前年度 79千円)</li> <li>・土地売買等届出受理 7件(前年度 15件)</li> </ul> <p>○JR北海道に対する支援等 緊急的かつ臨時的な支援に係る市町村支援金 1,300千円</p> <p>○新型コロナウイルスによる特別定額給付金 1,054,700千円 5,305世帯 10,493人 1,049,300千円 54世帯 54人 5,400千円(新生児)</p>
地域活性化推進	<p>○「泥流地帯」映画化プロジェクトの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「泥流地帯」映画化を進める会負担 614千円(前年度 1,730千円)</li> <li>・地域再生計画(映画化推進)推進PR活動旅費 187千円(前年度 453千円)</li> </ul> <p>○企業版ふるさと納税</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活火山の恵みと脅威を活力に～「十勝岳」魅力再発見プロジェクト～ [内閣府 第45回地域再生計画認定(平成29年11月7日)]</li> <li>・寄附件数 5件</li> <li>・寄附金額 15,300千円(参考:個人23件550千円)</li> </ul>

十勝岳ジオパーク（美瑛・上富良野エリア）  
構 想 の 推 進

○十勝岳ジオパーク認定へ向けた取組み

平成 29 年度の日本ジオパーク新規認定の見送りを受け、審査時に指摘された課題の改善と実績を積むべく、専門部会を中心に、住民が主体的に取り組むジオパーク活動を推進した。また、新たに専門員を配置し令和3年度の認定申請に向け活動の強化を図った。

- ・十勝岳ジオパーク推進協議会負担 2,033 千円(前年度 3,883 千円)  
美瑛町役場内に事務局一本化、JGN大会等への参加、  
周知普及活動（両町広報紙共通記事・ホームページ開設）、  
専門部会の開催、各種ツアーの実施、各種イベントへの参加  
ジオパークガイド・サポーター養成講座の開催（ガイド4人認定）、  
十勝岳ジオくらぶへの協力
- ・町の取組み 966 千円(前年度 1,215 千円)  
出前講座の実施、各種イベント・ツアー等への参加・協力  
ジオ図書の整備、ジオサイト解説板の設置 2カ所

ふるさと応援  
モニター事業

○ふるさと応援寄附（モニター該当分）18,171 件 306,752 千円

	令和2年度		平成31年度	
	件数	寄付額	件数	寄付額
「十勝岳」魅力再発見事業	7,877 件	117,397 千円	8,065 件	113,347 千円
ラベンダーのまちづくり事業	2,068 件	34,262 千円	1,578 件	23,039 千円
高齢者福祉推進事業	707 件	11,781 千円	594 件	8,354 千円
児童生徒の教育振興事業	3,156 件	57,094 千円	2,554 件	36,222 千円
自衛隊との共栄共存のまちづくり事業	659 件	14,680 千円	443 件	6,469 千円
そ の 他	3,704 件	71,538 千円	2,471 件	47,288 千円

○ふるさと応援モニター事業

	令和2年度	平成31年度
アンケート景品等	65 千円	64 千円
返礼品及び取扱委託料	171,509 千円	87,195 千円
その他事務費等	7,329 千円	5,817 千円
計	178,903 千円	93,076 千円

定 住 移 住 促 進

○定住移住対策

- ・町外に向けた情報発信
  - ①北海道暮らしフェア2020（東京）  
実績なし(新型コロナウイルス感染拡大により中止 前年度 2 人)
  - ②移住用ホームページ  
年間アクセス件数 3,808 件(前年度 5,907 件)
- ・移住相談 延べ13件(前年度 79 件)
- ・移住実績 実績なし(前年度 1 件 5 人)

○移住準備住宅

- ・移住準備住宅～旭町（10 戸） 年度末現在入居戸数 0 戸(前年度 同数)
- ・地域コミュニティ維持住宅～清富（3 戸）・江幌（0 戸）・東中（4 戸）  
年度末現在入居戸数 3 戸(前年度 4 戸)  
※江幌地区については、入居者への売却（令和3年3月31日）に伴い廃止

○シーズステイ住宅

- ・提供戸数 3戸
- ・申込件数 10件  
※新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により、キャンセル5件
- ・利用日数 延べ183日 利用人員延べ366人

○町内関係機関及び庁内における情報共有の推進等

定住移住促進連絡協議会の開催 1回(前年度 1回)

広域行政の推進

○富良野広域連合負担金 400,124千円(前年度 391,535千円)

内訳	令和2年度	平成31年度	比較
管理費	12,872千円	12,934千円	△62千円
環境衛生	44,362千円	42,754千円	1,608千円
串内牧場	14,657千円	17,431千円	△2,774千円
消防	268,954千円	264,573千円	4,381千円
学校給食	60,095千円	51,818千円	8,277千円
教育	12千円	42千円	△30千円
前年度繰越金	△8,580千円	△6,798千円	△1,782千円
翌年度繰越金	7,752千円	8,781千円	△1,029千円
合計	400,124千円	391,535千円	8,589千円

○定住自立圏 平成25年12月25日協定締結

- ・富良野地区定住自立圏共生ビジョン懇談会 1回(前年度 1回) ※書面開催

交流促進事業

○国内外交流(友好都市関係等)

《津市関係》

7月23日 ～8月2日	友好都市提携記念パネル展 (社会教育総合センターラウンジ)
—	津市からの来町は、新型コロナウイルスの影響により中止

《カムローズ関係》

12月10日	クリスマスカード16通送付
--------	---------------

《ふるさと会関係》

6月24日	プレミアムビール「まるごとかみふらの」の販売案内や上富良野町で撮影した映画「糸」の情報を掲載したはがきを札幌上富良野会員に送付 164通
—	札幌上富良野会総会 新型コロナウイルスの影響により中止
—	東京ふらの会 新型コロナウイルスの影響により中止

職員管理等

○職員研修の実施・派遣

- ・自治大学校入校 ※隔年実施  
実績なし(新型コロナウイルスにより実施延期 前年度 実績なし)
- ・市町村職員中央研修所派遣 実績なし(前年度 実績なし)

市町村アカデミー	実績なし
----------	------

- ・北海道市町村職員研修センター研修事業派遣 9人(前年度 12人)

地方自治法	1人
管理能力	3人
地方公務員法	2人
指導能力	1人

新任管理者基礎	1人
税務事務(基礎)	1人

・町村会等研修事業派遣 24人(前年度 37人)

町村職員法務(基礎)研修会	4人
町村職員法務(応用)研修会	1人
上川管内町村職員合同視察研修(道外)事前研修	1人
町村職員基礎研修会(1年目)	5人
町村職員初級研修会(2年目)	4人
町村職員中級研修会(4年目)	5人
町村職員研修講師研修	2人
上川管内町村職員合同視察研修会の事後研究会	1人
町村職員基礎研修会管理監督職員派遣	1人

・町主催研修事業 370人(前年度 313人)

新規採用者研修(第1回)	8人
新規採用者研修(第2回)	8人
メンタルヘルス対策研修	70人
人事評価研修	54人
例規システム説明会	12人
十勝岳ジオパーク構想について	91人
こころの健康講座	40人
成年後見制度の理解	87人

○職員提案制度 5件(前年度 実績なし)

○職員処分の適正化 行政処分審査委員会 3回開催(前年度 同数)

○職員互助会補助 629千円(前年度 695千円)

観光促進協賛、健康増進活動等職員福利厚生事業実施

バス運行事業

○定期バス運行状況

十勝岳線バス運行業務委託 6,094千円(前年度 5,559千円)

令和2年度			平成31年度		
利用者数	有償数	運賃収入	利用者数	有償数	運賃収入
5,468人	3,577人	1,086千円	8,891人	7,248人	1,947千円

予約型乗合タクシー  
運行事業

○予約型乗合タクシー運行【調整交付金事業】

・運行事業者 町内タクシー事業者2社

・利用登録者数 909人(前年度 914人)

・委託料 2社合計 6,157千円(前年度 7,843千円)

・運行実績

①年間運行回数 4,008回(前年度 4,799回)

②自宅発便の運行回数 2,272回(前年度 2,739回)

③目的地発便の運行回数 1,736回(前年度 2,060回)

④年間延べ乗車人数 8,881人(前年度 11,350人)

⑤稼働率 66.9%(前年度 88.2%)

防災対策

○十勝岳噴火総合防災訓練

・2月17~18日

- ・実施主体：十勝岳火山防災協議会
- ・訓練参加機関 11 機関(前年度 同数)  
上富分=300人、車両等62台(前年度 上富分=312人、車両等64台)  
※新型コロナウイルスの影響により、住民会等参加の訓練は実施せず
- ・避難訓練参加住民会 実績なし(前年度 10 住民会)
- ・避難訓練参加住民 実績なし(前年度 221 世帯 318 人)
- ・避難訓練参加事業所 実績なし(前年度 7 事業所 27 人)
- 親子の火山砂防見学会 7月28～29日 100人参加(前年度 195人)  
(内訳：小学校2校、児童85人、保護者0人、教員8人、関係機関7人)
- 自主防災組織等活動補助(H26～)自主防災組織が行う防災訓練・防災教育の啓発に伴う経費を補助し、防災活動の促進を図る。  
1 組織 補助額 136 千円(前年度 11 組織 補助額 487 千円)
- 防災士スキルアップ研修(7月19日開催) 参加防災士 14 人(前年度 23 人)
- 防災資機材整備事業【H27～継続】  
災害発生時の避難所運営のために必要な資機材等を計画的に備蓄整備した。  
・備蓄品購入(食品類、避難所用品等) 1,635 千円(前年度 1,258 千円)
- 避難所の施設整備
  - ・非常用自家発電設備整備工事
    - ①保健福祉総合センター 15,400 千円【調整交付金事業】
    - ②社会教育総合センター【繰越明許】 39,600 千円
- 泉栄防災センター管理費 8,106 千円(前年度 1,329 千円)  
・大集会室遠赤外線暖房機改修工事 6,897 千円【調整交付金事業】
- 避難行動要支援者名簿・個別支援計画の作成【H27～継続】  
・避難行動要支援者名簿を更新(毎年更新)
- 新型コロナウイルス感染症対策
  - ・新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営マニュアル(5月作成)
  - ・新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設・運営訓練 9月23日  
(職員25人、防災士10人、社会福祉協議会1人)
  - ・新型コロナウイルス感染症対策用備蓄品等購入 17,823 千円  
(マスク、アルコール消毒液、間仕切りテント、段ボールベッド等)

徴	税	費
---	---	---

納	税	推	進
---	---	---	---

- 町税及び国民健康保険税の収納状況
  - ・町税調定総額 1,047,923 千円(前年度 1,034,133 千円)
  - ・町税収納済総額 1,023,684 千円(前年度 1,026,152 千円)
  - ・町税滞納総額 24,238 千円(前年度 7,980 千円)
  - ・町税収納率 現年度 98.4%、滞納繰越 8.9%、合計 97.7%  
(前年度 現年度 99.4%、滞納繰越 27.5%、合計 99.2%)
  - ・国保税調定総額 286,578 千円(前年度 286,195 千円)
  - ・国保税収納済総額 281,152 千円(前年度 282,242 千円)
  - ・国保税滞納総額 5,426 千円(前年度 3,952 千円)
  - ・国保税収納率 現年度 99.0%、滞納繰越 22.1%、合計 98.1%  
(前年度 現年度 99.4%、滞納繰越 26.6%、合計 98.6%)
  - ・不納欠損総額 1,593 千円(前年度 429 千円)  
内訳 町税 823 千円・国保税 770 千円  
(前年度 町税 168 千円・国保税 261 千円)
  - ・町税及び国保税滞納者実人数 91 人(前年度 66 人)

○新型コロナウイルス感染症の影響による猶予及び減免の状況

- ・徴収猶予の特例 16件 12,938千円
- ・減免 国保税 60世帯 9,894千円

○収納対策の状況

- ・差押え執行 21件(前年度 41件)
- ・公売の実施 実績なし(前年度 実績なし)
- ・町税等滞納プロジェクト(管理職) 実績なし(前年度 実績なし)
- ・夜間納税相談窓口開設 実績なし(前年度 実績なし)
- ・国保保険証短期交付 16世帯 26人(前年度 13世帯 23人)
- ・国保資格証明証交付 実績なし(前年度 実績なし)
- ・町税等の滞納者に対する行政サービスの制限措置等に関する条例に基づく制限措置該当件数 実績なし(前年度 実績なし)
- ・延滞金の減免人数 実績なし(前年度 実績なし)

○収納サービス向上対策

- ・コンビニ収納システム  
平成19年4月1日  
～町民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税・介護保険料  
平成20年4月1日  
～後期高齢者医療保険料

・コンビニ収納及び口座振替の利用状況

		令和2年度	平成31年度	比較
コンビニ	利用件数	13,048件	12,971件	77件
	利用割合	35.7% (62.5%)	34.6% (58.9%)	1.1% (3.6%)
口座振替	利用件数	15,650件	15,454件	196件
	利用割合	42.8%	41.2%	1.6%

※( )は口座振替を除く利用割合

・コンビニ収納及び口座振替の収入状況

		令和2年度	平成31年度	比較
コンビニ	収入金額	202,058千円	198,835千円	3,223千円
	収入手数料	993千円	976千円	17千円
口座振替	収入金額	506,911千円	407,407千円	99,504千円
	収入手数料	516千円	505千円	11千円

○オリジナルナンバープレート交付状況

・50cc以下(白)	26枚	(前年度 21枚)
・90cc以下(黄)	4枚	(前年度 3枚)
・125cc以下(桃)	15枚	(前年度 8枚)
・ミニカー(水)	0枚	(前年度 0枚)
・小型特殊(緑)	75枚	(前年度 67枚)

戸籍住民基本台帳費

戸籍・住民業務

○戸籍関係(令和3年3月31日現在)

- ・戸籍人口 11,971人 (前年度 12,146人)
- ・戸籍数 5,043戸 (前年度 5,089戸)
- ・戸籍事件総数 481件 (前年度 555件)
- 内訳 出生 77件 (前年度 92件)

転籍 55件 (前年度 80件)  
 婚姻 101件 (前年度 112件)  
 死亡 153件 (前年度 156件)  
 その他 95件 (前年度 115件)

※新戸籍編製 58件(前年度 75件)

戸籍全部消除 103件(前年度 123件)

○住民基本台帳関係(令和3年3月31日現在)

※外国人住民を含む

・住民基本台帳人口 10,380人(前年度 10,518人)

・世帯数 5,324世帯(前年度 5,312世帯)

(届出件数) 転入届 438件 (前年度 510件)  
 転出届 452件 (前年度 550件)  
 転居届 186件 (前年度 239件)  
 世帯変更届 116件 (前年度 143件)  
 その他 310件 (前年度 362件)

・住民票・諸証明等交付状況

(種別) 戸籍謄・抄本 1,917件 (前年度 2,124件)  
 除籍謄・抄本 1,873件 (前年度 2,020件)  
 その他(戸籍関係) 12件 (前年度 27件)  
 戸籍附票 458件 (前年度 588件)  
 火葬許可 100件 (前年度 109件)  
 臨時運行許可 149件 (前年度 170件)  
 住民票 5,116件 (前年度 5,765件)  
 住民票閲覧 32件 (前年度 10件)  
 その他(住民票関係) 180件 (前年度 224件)  
 印鑑証明書 2,460件 (前年度 2,606件)  
 納税証明 39件 (前年度 38件)  
 その他の証明 1,672件 (前年度 1,889件)

○住民基本台帳ネットワークシステム関係

・住民票広域交付 7件(前年度 5件)

・住基カード年度末有効枚数 124枚(前年度 257枚)

○個人番号カード関係

・個人番号カード交付枚数 1,493枚(前年度 640枚) 累計 3,734枚

・証明書コンビニ交付 495件(前年度 238件)

○パスポート申請受付関係

・5年旅券 6件 (前年度 74件)

・10年旅券 14件 (前年度 64件)

選挙費

選挙

○選挙管理委員会

会議 10回開催(内訳:定時登録4回、選挙時等6回)(前年度 17回)

管内道内各種会議・研修会等出席

○選挙啓発

啓発標語募集・新成人啓発 14千円(前年度 33千円)

○上富良野町長選挙

令和2年11月29日執行

有権者数	8,887人	(前回H28 9,191人)
投票者数	6,681人	(前回H28 6,345人)
投票率	75.18%	(前回H28 69.03%)

統計調査費

統計調査

○各種指定統計調査

- ・学校基本調査(調査期日:5月1日)
- ・工業統計調査(調査期日:6月1日) 調査員 1人
- ・国勢調査(調査期日:10月1日) 指導員 12人 調査員 78人

監査委員費

監査

○定期監査 所要日数 7日(前年度 8日)

町の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について実施した。

〔 期日を定めて町立病院貯蔵品検査、車両検査を実施。また保健福祉課、ラベンダーハイツ、総務課所管を対象に合理的かつ効率的に行われているかを主眼として実施 〕

○随時監査 所要日数 実施なし(前年度実績なし)

○例月現金出納検査(月1回) 12回(前年度 同数)

会計管理者所管、公営企業管理者所管の現金の出納について毎月実施した。

〔 現在高及び出納関係諸表等の計数の正確性を検証するとともに、現金の出納事務が適正に行われているかを主眼として実施 〕

- ・一般会計・6 特別会計・2 企業会計

○決算審査

決算書その他関係諸表等について審査を実施した。

〔 計数の正確性の検証及び予算の執行、特別事業会計の経営が適正かつ効率的に行われているかを主眼として実施 〕

- ・一般会計・6 特別会計 実質審査日数 8日(前年度 同数)
- ・財政健全化・経営健全化 実質審査日数 2日(前年度 同数)
- ・2 企業会計 実質審査日数 5日(前年度 同数)

○基金運用状況審査 1日(前年度 4日)

基金の運用状況を示す書類について審査を実施した。

〔 計数の正確性を検証するとともに基金の運用が適正かつ効率的に行われているかを主眼として実施 〕

○財政的援助団体等の監査 実績なし(前年度 実績なし)

○監査委員研修 実績なし(前年度 6日)

※北海道町村等監査委員協議会主催の研修会及び総会、上川管内、富良野地区の監査委員研修は新型コロナウイルスの影響により中止



# 民 生 費

## 社 会 福 祉 費

### 地 域 福 祉 対 策

- 民生児童委員協議会補助 4,656 千円(前年度 4,929 千円)
  - ・民生委員児童委員数 34 人
  - ※任期 3 年(令和元年 12 月 1 日から令和 4 年 11 月 30 日)
  - ・民生児童委員協議会開催数 8 回(前年度 12 回)
  - ・民生児童委員協議会延べ出席人数 272 人(前年度 345 人)
  - ・事業内容  
地域見守り活動、高齢者実態調査、各種制度等研修、歳末助け合い運動、各部会活動、ボランティア活動など
- 民生委員推薦会
  - ・民生委員推薦会開催回数 実績なし(前年度 2 回 延べ 14 人)
  - ・民生委員推薦会委員報酬 実績なし(前年度 40 千円)
- 社会福祉協議会補助 22,130 千円(前年度 24,260 千円)
  - ・社会福祉協議会職員給与費 4 人分(事務職員 4 人)
  - ・事業内容  
ふれあい広場事業、心配ごと相談事業、社会福祉大会事業、遺族援護活動事業、戦没者追悼行事、ボランティアの町づくり事業 外
- 社会福祉金庫運用資金貸付 800 千円(前年度 同額)
- 保護司会補助 230 千円(前年度 355 千円)
- 遺族会補助 129 千円(前年度 243 千円)
- 障がい者計画策定委員会議  
委員 13 人 5 回開催 45 千円
- 第 3 期障がい者計画等策定委託 2,723 千円

### 国 民 年 金 事 務

- 第 1 号被保険者に係る法定受託業務
  - ・資格取得届 219 件(前年度 299 件)
  - ・口座等納付申出 30 件(前年度 32 件)
  - ・納付免除申請 74 件(前年度 133 件)
  - ・学生納付特例申請 20 件(前年度 32 件)
  - ・老齢年金等裁定申請 24 件(前年度 同数)

### 老 人 福 祉 対 策

- 生きがい対策
  - ・敬老祝金 白寿 1 人 50 千円(前年度 白寿 4 人 200 千円)
  - ・老人クラブ運営費補助 1,506 千円(前年度 1,270 千円)
    - 単位老人クラブ 20 団体(前年度 同数)
    - 老人クラブ連合会 会員数 1,169 人(前年度 1,186 人)
  - ・高齢者事業団運営費補助 5,178 千円(前年度 5,155 千円)
    - 会員数 41 人(前年度 51 人)
  - ・高齢者福祉施設感染症対策環境整備補助 4 件 400 千円
- 保健福祉総合センター管理運営 68,604 千円(前年度 77,072 千円)
  - (内訳) 通常管理運営費 55,485 千円(前年度 54,998 千円)
  - 運動指導業務委託費 12,408 千円(前年度 12,295 千円)
  - ワイヤレス放送設備【調整交付金事業】 711 千円
  - ・利用者数 延べ 52,249 人(前年度 62,306 人)

・施設使用料収入 7,596 千円(前年度 8,419 千円)

(内訳)

- ①健康遊浴施設使用料 2,103 千円 (前年度 2,365 千円)
- ②デイサービスセンターかみん 4,808 千円 (前年度 5,147 千円)
- ③ヘルパーステーション(社協) 329 千円 (前年度 同額)
- ④訪問看護ステーション 233 千円 (前年度 同額)
- ⑤各室使用料 84 千円 (前年度 306 千円)
- ※NPO 法人運営 喫茶かみん使用料 5 千円含む
- ⑥自動販売機使用料 39 千円 (前年度 同額)

○福祉バス 利用者数 延べ 792 人(前年度 延べ 3,022 人)

○援護関係

・在宅福祉推進事業 8,184 千円(前年度 6,575 千円)

	令和2年度		平成31年度	
	数量	千円	数量	千円
配食サービス	4,593 食	2,891 千円	4,581 食	2,855 千円
移送サービス	714 回	2,159 千円	625 回	1,552 千円
理容サービス	25 回	149 千円	23 回	118 千円
除雪サービス	101 世帯	2,941 千円	105 世帯	2,006 千円
電話サービス	84 回	44 千円	86 回	44 千円

・緊急通報システム保守点検業務

	令和2年度	平成31年度
事業費	1,542 千円	1,587 千円
対象者	120 人	124 人

・寝たきり者等おむつ購入費助成

	令和2年度	平成31年度
事業費	785 千円	777 千円
対象者	16 人	18 人

・在宅福祉用具一時レンタル費用助成

	令和2年度	平成31年度
事業費	30 千円	54 千円
対象者	2 人	3 人

○介護保険関係

・社会福祉法人等利用者負担軽減補助

	令和2年度	平成31年度
事業費	916 千円	932 千円
対象者	23 人	21 人

・在宅サービス利用負担軽減補助

	令和2年度	平成31年度
事業費	604 千円	682 千円
対象者	63 人	62 人

・介護職員初任者研修費助成事業

	令和2年度	平成31年度
事業費	40 千円	90 千円
対象者	1 人	2 人

他会計に対する諸対策

- 介護保険特別会計繰出 179,059 千円(前年度 158,491 千円)
- ラベンダーハイツ事業特別会計繰出 56,006 千円(前年度 58,576 千円)
- 北海道後期高齢者医療広域連合へ療養給付費の町負担金  
110,400 千円(前年度 115,785 千円)
- 後期高齢者医療特別会計繰出 51,292 千円(前年度 49,269 千円)

身 障 福 祉 対 策

当町の身体障害者数は 568 人（令和 3 年 3 月 31 日現在）で全人口 10,380 人の約 5.4 % を占めており、身体障害者の高齢化、障害の重複化が進行する中、障害者等の福祉増進を図った。

○要援護対策

- ・上富良野町身体障害者福祉協会補助 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 50 千円)

・腎臓機能障害者通院交通費補助

	令和2年度	平成31年度
補助額	943 千円	1,200 千円
対象者	13 人	17 人

・特定疾患患者通院交通費補助

	令和2年度	平成31年度
補助額	487 千円	532 千円
延べ対象者	94 人	95 人

・重度障害者タクシー料金助成

	令和2年度	平成31年度
補助額	678 千円	798 千円
対象者	75 人	85 人
利用枚数	1,355 枚	1,584 枚

・更生医療給付

	令和2年度	平成31年度
給付額	8,839 千円	16,708 千円
件数	583 件	562 件

・育成医療給付

	令和2年度	平成31年度
給付額	実績なし	実績なし
件数	—	—

○身体障害者等相談員（北海道から移譲）

- ・身体障害者相談員謝礼 1 人 25 千円 相談件数2件  
(前年度 1 人 25 千円 相談件数 0 件)
- ・知的障害者相談員謝礼 1 人 25 千円 相談件数6件  
(前年度 1 人 25 千円 相談件数 0 件)

○障害者福祉システム改修

- ・制度改正等に伴う改修 1,133 千円(前年度 926 千円)

障 害 者 ( 児 ) 対 策

○障害福祉一般管理費

- ・社会福祉施設等の整備に関する事業補助（初度調達費）  
500 千円(前年度 同額)  
富良野あさひ郷グループホーム施設補助（改修費用）【繰越明許】
- ・障がい福祉サービス事業所感染対策環境整備事業 7 件 700 千円

○自立支援

- ・障害者施設等通所交通費補助 3人 192千円(前年度 3人 207千円)
- ・児童通所支援(3月~2月)

支援給付	令和2年度		平成31年度	
	延べ利用人数	支給額	延べ利用人数	支給額
障害児計画相談支援	194人	2,859千円	196人	2,924千円
児童発達支援	441人	13,565千円	556人	19,779千円
医療型児童発達支援	0人	—	6人	62千円
放課後等デイ	257人	21,784千円	336人	20,141千円

- ・障害者給付(3月~2月)

支援給付		令和2年度		平成31年	
		支給額	延べ利用人数	支給額	延べ利用人数
介護給付	居宅介護	1,428千円	33人	1,160千円	30人
	同行援護	実績なし	—	実績なし	—
	療養介護	9,636千円	36人	10,023千円	39人
	生活介護	109,497千円	470人	101,233千円	456人
	短期入所	4,073千円	29人	1,162千円	15人
	施設入所支援	33,548千円	302人	32,976千円	311人
訓練給付	共同生活援助	40,962千円	364人	31,159千円	292人
	宿泊型自立訓練	実績なし	—	1,324千円	11人
	自立訓練	実績なし	—	実績なし	—
	就労移行支援	103千円	1人	2,736千円	13人
	就労継続支援A型	23,497千円	186人	23,276千円	180人
	就労継続支援B型	87,186千円	647人	78,738千円	612人
療養介護医療費		2,524千円	36人	2,701千円	39人
特定障害者特別給付費		6,681千円	660人	6,348千円	598人
障害者計画相談支援		3,335千円	202人	3,605千円	214人
高額障害福祉サービス等給付費		356千円	28人	371千円	26人

- ・障害者相談(うち上富良野相談支援センター分)

計画相談 実績なし(前年度 実績なし)  
モニタリング 実績なし(前年度 実績なし)

- ・補装具

令和2年度		平成31年度	
給付額	件数	給付額	件数
2,245千円	17件	2,644千円	22件

○地域生活支援事業

- ・地域生活支援センター事業 5,548千円(前年度 4,963千円)

区分	令和2年度		平成31年度	
	事業費	件数	事業費	件数
基幹相談支援センター	532千円	—	780千円	—
障害者相談支援	2,657千円	854件	1,812千円	1,174件
地域活動支援センター事業	1,803千円	795件	1,760千円	670件
コミュニケーション支援事業	66千円	0件	64千円	4件

社会参加促進事業	33千円	—	99千円	—
居住サポート事業	43千円	4件	57千円	5件
生活サポート事業	414千円	1件	391千円	—

・移動支援事業

令和2年度		平成31年度	
事業費	件数	事業費	件数
183千円	49件	194千円	52件

・日中一時支援事業

令和2年度		平成31年度	
事業費	件数	事業費	件数
2,843千円	817件	3,136千円	950件

・生活サポート事業

令和2年度		平成31年度	
事業費	件数	事業費	件数
95千円	63件	208千円	111件

・障害者スポーツ教室

令和2年度			平成31年度		
事業費	回数	延べ	事業費	回数	延べ
75千円	4回	33人	204千円	11回	106人

・手話通訳者等派遣事業 23千円(前年度 22千円)

・重度心身障害児等通園移送事業(新規) 528千円

・重度心身障害児等通園移送負担

※令和2年度より委託事業へ変更

	令和2年度	平成31年度
事業費	実績なし	474千円
件数	—	23件

・日常生活用具給付事業

	令和2年度	平成31年度
事業費	2,960千円	2,410千円
件数	292件	216件

・重度身体障害者自動車運転免許取得費補助 実績なし(前年度 実績なし)

・身体障害者用自動車改造費補助

	令和2年度	平成31年度
事業費	実績なし	100千円
件数	—	1件

○重度心身障害者医療費給付 17,513千円(前年度 18,548千円)

・受給対象者 205人(前年度 206人)

児童福祉費

児童福祉対策

「第2期子ども・子育て支援事業計画」を中心に、すべての子供が健やかに成長することができる環境づくりに向けて、児童福祉施策を積極的に推進した。

○子ども・子育て会議

委員 15人 2回開催 94千円(託児委託含む)

(前年度 委員 15人 5回 219千円)

○わかば中央保育園教育・保育給付費 113,006 千円(前年度 109,008 千円)

年間延べ入所児童数

	令和2年度	平成31年度
3歳未満児	426人	312人
(うち0歳)	49人	62人
3歳児	145人	171人
4歳児以上	355人	406人
計	926人	889人

○上富良野西こども園教育・保育給付費 65,253 千円(前年度 69,755 千円)

年間延べ入所児童数

	令和2年度	平成31年度
3歳未満児	213人	200人
(うち0歳)	12人	40人
3歳児	48人	186人
4歳児以上	300人	227人
計	561人	613人

○わかば愛育園教育・保育給付費 94,991 千円(前年度 86,444 千円)

年間延べ入所児童数

	令和2年度	平成31年度
3歳未満児	252人	235人
(うち0歳)	44人	47人
3歳児	146人	134人
4歳児以上	272人	259人
計	670人	628人

○上富良野高田幼稚園教育・保育給付費 156,675 千円(前年度 148,441 千円)

年間延べ入所児童数

	令和2年度	平成31年度
3歳未満児	410人	395人
(うち0歳)	64人	33人
3歳児	370人	543人
4歳児以上	929人	986人
計	1,709人	1,924人

○子育てのための施設等利用給付費 2,504 千円(前年度 1,598 千円)

	令和2年度	平成31年度
わかば中央保育園	8人	15人
上富良野西こども園	実績なし	2人
わかば愛育園	13人	9人
上富良野高田幼稚園	37人	40人
広域利用	2人	2人
認可外保育施設	2人	3人
計	62人	71人

○医療的ケア児保育支援事業(訪問看護師派遣委託、加配保育士配置)

1人 2,088 千円(前年度 1人 2,029 千円)

○特別支援教育・保育事業 5,040 千円(前年度 4,991 千円)

	令和2年度	平成31年度
わかば中央保育園	4人	3人
上富良野西こども園	2人	2人
わかば愛育園	4人	4人
上富良野高田幼稚園	実績なし	2人
計	10人	11人

○保育補助者雇上強化事業 3,816 千円(前年度 2,788 千円)

	令和2年度	平成31年度
わかば中央保育園	実績なし	実績なし
上富良野西こども園	1人	1人
わかば愛育園	1人	実績なし
上富良野高田幼稚園	2人	2人
計	4人	3人

○延長保育事業 1,110 千円(前年度 1,083 千円)

	令和2年度	平成31年度
わかば中央保育園	延べ827人	延べ516人
上富良野西こども園	延べ169人	延べ453人
わかば愛育園	延べ143人	延べ113人
上富良野高田幼稚園	延べ363人	延べ448人
計	延べ1,502人	延べ1,530人

○保育環境改善事業

保育対策総合支援事業費補助金(新型コロナウイルス感染症対策分)対象事業

	令和2年度	繰越明許分	平成31年度
わかば中央保育園	50千円	396千円	54千円
上富良野西こども園	8千円	492千円	実績なし
わかば愛育園	30千円	214千円	256千円
上富良野高田幼稚園	10千円	490千円	実績なし
計	98千円	1,592千円	310千円

○一時預り事業 15,884 千円(前年度 13,371 千円)

	令和2年度		平成31年度	
	【一般型】	【幼稚園型】	【一般型】	【幼稚園型】
わかば中央保育園	延べ19人	延べ2,329人	延べ19人	延べ2,772人
上富良野西こども園	延べ15人	延べ225人	延べ120人	延べ939人
わかば愛育園	延べ18人	延べ1,856人	延べ25人	延べ1,668人
上富良野高田幼稚園	延べ41人	延べ4,557人	延べ86人	延べ5,923人
みどり幼稚園(広域)		延べ56人		延べ21人
ルンビニ幼稚園(広域)		延べ224人		延べ182人

○広域入所 7施設 7人 4,243千円(前年度 4施設 7人 4,094千円)

- ・みどり幼稚園 1人(4歳児) 861千円
- ・ルンビニ幼稚園 1人(4歳児) 593千円
- ・聖園幼稚園 1人(4歳児) 937千円
- ・なかふらのこども園 1人(1歳児) 61千円
- ・ピッコロガーデン 1人(0歳児) 849千円
- ・百華幼稚園 1人(5歳児) 248千円
- ・春光台保育園 1人(2歳児) 694千円

○子育て世帯に対する生活困窮助成事業(新規) 379千円

- ・教育・保育施設給食費(主食費)助成 20人 312千円
- ・延長保育料助成 5人 50千円
- ・一時預かり事業(一般型)利用料助成 実績なし
- ・子育て援助活動支援利用料助成 4人 17千円

○児童手当 82,595千円(前年度 84,565千円)

区分	令和2年度		平成31年度	
	延べ児童数	支給額計	延べ児童数	支給額計
被用者 (3歳未満)	677人	10,155千円	723人	10,845千円
非被用者 (3歳未満)	320人	4,800千円	339人	5,085千円
被用者 (3歳以上小学校修了前)	2,991人	32,580千円	3,004人	32,465千円
非被用者 (3歳以上小学校修了前)	1,507人	16,445千円	1,501人	16,510千円
中学校修了前給付	1,617人	16,170千円	1,700人	17,000千円
特例給付 (所得超過者)	489人	2,445千円	532人	2,660千円
合計	7,601人	82,595千円	7,799人	84,565千円

- ・支給対象 中学校修了前まで
- ・支給月額 3歳未満 15千円  
小学校修了前 10千円(第3子以降 15千円)  
中学校修了前 10千円  
特例給付 5千円

○ひとり親家庭等医療費給付 3,185千円(前年度 4,444千円)

- 支給対象者 母(父)親 84人(前年度 100人)
- 子ども 136人(前年度 162人)

○ひとり親世帯臨時特例給付金事務費(新規) 139千円

- 支給対象世帯 85世帯

○児童館運営事業 11,212千円(前年度 8,975千円)

- ・児童館数 2か所(東・西児童館)
- ・児童厚生施設員数 東児童館 1人(前年度 同数)  
西児童館 1人(前年度 同数)
- ・児童館指導員数 東児童館 3人(前年度 同数)  
西児童館 2人(前年度 3人)
- ・来館延べ児童数 東児童館 4,098人(前年度 8,281人)  
西児童館 4,287人(前年度 4,703人)



・年間行事数 東児童館 6回(前年度 17回)

西児童館 9回(前年度 15回)

○障害児相談支援運営事業 14,350千円(前年度 14,357千円)

・計面相談 122件(前年度 118件)

・モニタリング 112件(前年度 114件)

・一般相談 199件(前年度 162件)

○発達支援センター運営事業 38,637千円(前年度 35,996千円)

・通園児 67人(上富良野町 49人 中富良野町 18人)

(前年度 69人(上富良野町 53人 中富良野町 16人))

・利用者数 延べ 1,806人(上富良野町 1,282人 中富良野町 524人)

(前年度 延べ 1,844人(上富良野町 1,445人 中富良野町 399人))

・専門機関による支援事業 17回 56人(前年度 17回 48人)

巡回支援専門員整備事業、地域療育支援、巡回児童相談、道立施設専門支援事業

・地域支援事業 実績なし(前年度 4回)

・子ども発達推進研修会 1回 48人

○子育て支援拠点事業 8,382千円(前年度 7,110千円)

事業名	対象	実施日	令和2年度 人数等	平成31年度 人数等
マタニティ教室 いきいき パパ・ママ	妊婦と家族	月1回	11回 56人	8回 35人
にこにこ赤ちゃん	2~4か月児の 親子(保護者)	月1回	9回 保護者36人 対象児36人 同伴児3人 妊婦1人	11回 保護者50人 対象児48人 同伴児6人
1歳の誕生会 ※子育て支援ごみ 袋交付を兼ねて実 施	1歳になる親子	月1回	11回 保護者46人 対象児43人 同伴児2人	11回 保護者37人 対象児37人 同伴児1人
ぴよぴよ	7か月児まで の親子	週1回	41回 延べ493人	46回 延べ366人
よちよち	1歳11か月 児までの親子	週2回	86回 延べ2,061人	83回 延べ1,447 人
あそびのひろば	2歳~就学前 の親子	週1回	43回 延べ738人	45回 延べ771人
みんなおいで	就学前の親子	週1回	41回 延べ785人	45回 延べ845人
親子教室 「すまいる」	10か月~1歳 6か月児の親 子	年6クール 1クール8 回	保護者30人 対象児30人	保護者28人 対象児28人 同伴児2人
なかよしサロン	就学前の親子 ※町外者も可	月~金	225日 延べ1,495人	219日 延べ1,971 人
食育サロン	妊婦・子育て 中の親子など	月~金	5回 32人	28回 153人
泉栄子育てサロン 出張支援	就学前の親子	月2回	20回 延べ190人	21回 延べ119人

育児相談		月～金	27件	51件
リサイクル事業	町内在住者	月～金	提供者 延べ284人 持ち帰り者 延べ617人	提供者 延べ339人 持ち帰り者 延べ650人
「子育てサロン通信」発行		毎月	年12回	年12回

- ・子育て講習会 6回 延べ141人(前年度7回 延べ237人)
  - 「着衣で楽しむふれあいマッサージ」 9月18日 親子25人
  - 12月4日 親子16人
  - 「子育て講演会」 10月2日 親子19人
  - 「救急救命講習」 11月6日 親子20人
  - 「0歳からの歯みがき指導」 11月20日 親子28人
  - 「親子リズム遊び」 2月12日 親子33人
- ・育児サークル支援
  - 12サークル 延べ136世帯 個人会員31世帯
  - (前年度9サークル 延べ103世帯 個人会員30世帯)
- ・かみふ子育てネット「くるくる」負担金 260千円(前年度240千円)
- ・ファミリー・サポート・センター
  - 委託先：NPO法人こどもサポートふらの
  - 委託費：949千円(前年度1,000千円)
  - 登録会員：211人(前年度186人)
  - 提供会員：23人(前年度18人)
  - 依頼会員：113人(前年度105人)
  - 両方会員：75人(前年度63人)
- 子どもセンター管理費 3,903千円(前年度4,385千円)
- 子育て支援ごみ袋交付事業(出生時及び1歳誕生月に交付)
  - ・事業費 560千円(前年度630千円)
  - ・交付実績 137人 7,855枚(前年度153人 8,790枚)
- 子育て支援人材育成研修事業
  - ・研修会開催 3回 55千円(前年度8回 245千円)
- 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業 165千円(前年度151千円)
  - ・養育支援訪問事業(拡充) 1件 20回 73千円
  - ・前向き子育てプログラム「コモンセンスペアレンティング(CSP)」
- 【子ども・子育て支援交付金事業】
  - 講座7回 88人/アフターフォロー講座1回 11人
  - (前年度 講演会1回 33人/自主勉強会2回 29人)
- 要保護児童対策地域協議会
  - ・代表者会議 1回(前年度同数)
  - ・個別ケース検討会議 5回(前年度11回)
  - ・関係機関会議 2回(前年度11回)
- 地域少子化対策推進事業 2回 50千円(前年度8回 160千円)
  - ・パパの子育て応援講座 2回(前年度同数)
  - ・中学生のための妊娠・出産・子育て講座 実績なし
  - (新型コロナウイルスの影響により中止 前年度6回)
  - 上富良野中学校1年生を対象に、保健体育の授業として助産師による講話
  - ・「妊娠・出産・子育てについて」 実績なし
  - (新型コロナウイルスの影響により中止 前年度3回)
  - 中学3年生を対象に技術・家庭科の授業として地域の親子に協力してもら

い、就学前前の子どもとのふれあいや保育体験を実施

・子育てライブラリー事業

保健福祉総合センターのプレールームに貸出用書籍及びDVDを設置

○子ども・子育て包括センター事業

- ・乳幼児全戸訪問事業 64件 (前年度 75件)
- ・養育支援訪問事業 38件 (前年度 19件)
- ・相談支援 142件 (前年度 192件)
- ・要保護児童相談支援 19件 (前年度 45件)
- ・子育て支援事業 74件 (前年度 81件)
- ・乳幼児相談、健診 284件 (前年度 269件)

○家庭総合支援拠点事業

- ・子ども家庭支援員 1人(前年度 同数)
- ・養育支援訪問 17件(前年度 24件)
- ・相談支援 27件(前年度 37件)

○感染拡大防止対策事業 10,452千円

(新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金事業 交付額 10,423千円)

【児童福祉施設等分】 10,029千円

- ・認可保育所 1施設、500千円
- ・幼保連携型認定こども園 3施設 1,500千円
- ・一時預かり事業 4施設 2,000千円
- ・延長保育事業 4施設 2,000千円
- ・利用者支援事業 501千円
- ・養育支援訪問事業 510千円
- ・乳幼児全戸訪問事業 511千円
- ・児童厚生施設 2施設 1,005千円
- ・地域子育て支援拠点事業 502千円
- ・放課後児童健全育成事業(教育費) 1,000千円

【障害福祉サービス事業所分】 423千円

- ・発達支援センター 380千円
- ・児童相談支援センター 43千円

○感染拡大防止を図る事業 7,791千円

(子ども子育て支援交付金対象拡充事業

交付額 7,800千円 現年分 6,300千円 繰越分 1,500千円)

- ・一時預かり事業 4施設 2,000千円
- ・延長保育事業 4施設 2,000千円
- ・利用者支援事業 500千円
- ・養育支援訪問事業 518千円
- ・乳幼児全戸訪問事業 503千円
- ・地域子育て支援拠点事業 508千円
- ・放課後児童健全育成事業(教育費) 現年分 305千円 繰越分 1,457千円

○新型コロナウイルス感染症対策臨時休業時特別開所支援事業

(子ども・子育て支援交付金対象拡充事業 交付額 99千円)

- ・放課後児童健全育成事業(教育費) 300千円

○子育て世帯への臨時特別給付金 13,020千円

- ・744世帯 1,302人

# 衛 生 費

## 保 健 衛 生 費

他会計に対する諸対策

- 病院事業会計負担等 287,491 千円(前年度 262,822 千円)
- 国民健康保険特別会計繰出 120,622 千円(前年度 131,883 千円)

医 療 対 策

- 富良野圏域救急医療の確保に伴う町の負担金  
8,381 千円(前年度 8,408 千円)
- 旭川救命救急センター負担金 150 千円(前年度 同額)
- 地域センター病院産婦人科医療確保対策事業負担  
1,124 千円(前年度 2,538 千円)
- 地域センター病院新型コロナウイルス感染症対策支援負担金(新規)  
1,311 千円

成 人 保 健

「健康かみふらの21(第2次)」計画(中間評価)と「第2期データヘルス計画」に基づき、各ライフステージに応じた生活習慣病の発症及び重症化予防を重視し、町民が自ら健康づくりに取り組めるよう各種事業を実施した。

○保健事業

- ・健康増進 4,854 千円(前年度 4,832 千円)
  - ①健康手帳の交付(経年健診記録と学習資料等保存用) 30人(前年度 同数)
  - ②健康教育(健康知識の普及啓発)受講者数 46人(前年度 201人)

内訳	区 分	令和2年度		平成31年度	
		回数	人数	回数	人数
	一般健康教育	0回	0人	3回	166人
	健康教育(栄養)	0回	0人	1回	25人
	こころの健康づくり	2回	46人	1回	10人

③健康相談者数 5,096人(前年度 5,225人)

内訳	区 分	令和2年度	平成31年度
		人数	人数
	来所・電話相談	997人	890人
	栄養来所・電話相談	410人	397人
	健診事後栄養相談	332人	299人
	歯科相談	実績なし	208人
	健康事後相談	874人	739人
	健診時相談	2,404人	2,384人
	健診時栄養相談	66人	291人
	こころの相談	13人	17人

④訪問指導訪延べ人数 360人(前年度 412人)

内訳	区 分	令和2年度	平成31年度
		人数	人数
	生活習慣病	263人	273人
	栄養指導	26人	26人
	その他の疾患	71人	113人

⑤尿アルブミン値検査 2,313人(前年度 2,344人)

⑥基本健診(生活保護者分)

対象者 49人 受診者 19人 受診率 38.8%  
(前年度 対象者 50人 受診者 17人 受診率 34.0%)

- ⑦歯科健診（30・35・40・50・60歳）  
対象者 575人 受診者 118人 受診率 20.5%  
（前年度 対象者 627人 受診者 124人 受診率 19.8%）
- ⑧肝炎ウイルス検診 受診者 115人（前年度 153人）
- ⑨心の健康づくり対策事業（啓発・相談事業） 3回（前年度 4回）

・その他健診（国民健康保険特別会計）

- ①国保特定健康診査 1,125人（前年度 1,141人）
- ②腹部エコー検査 199人（前年度 213人）
- ③肺機能検査（スパイロメトリー検査） 実績なし（前年度 179人）
- ④若年健康診査 132人（前年度 143人）
- ⑤高齢者健康診査 757人（前年度 738人）
- ⑥国保外特定健康診査 233人（前年度 253人）

・サルコペニア重症化予防事業（後期高齢者医療特別会計）

- ①75歳 実71人 延べ158人（前年度 実58人 延べ124人）
- ②70歳 実98人 延べ203人（前年度 実78人 延べ151人）

・結核検診 2,543千円（前年度 2,449千円）

受診者数 1,651人（前年度 1,663人）

・エキノコックス症検査 56千円（前年度 35千円）

受診者数 40人（前年度 25人）

・各種がん検診 10,715千円（前年度 11,002千円）

区 分	令和2年度	平成31年度
胃がん検診	598人	591人
大腸がん検診	936人	901人
肺がん検診	2,368人	2,405人
子宮がん検診	333人	369人
乳がん検診	350人	378人

・特定保健指導料（被用者保険被扶養者特定保健指導利用券使用者）

保健指導者数 初回実施分 12人（前年度 15人）

・予防接種 8,891千円（補含む）（前年度 8,051千円）

高齢者インフルエンザ接種費助成 2,244人（前年度 1,963人）

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費助成 119人（前年度 142人）

・風しん抗体検査・予防接種 889千円（前年度 1,245千円）

抗体検査 対象者 646人 受診者 141人（21.8%）

予防接種 接種数 31人

母 子 保 健

「健康かみふらの21（第2次）」計画（中間評価）一次世代の健康に基づき、妊娠期から乳幼児・学童期にわたり、健やかな発育・発達とより良い生活習慣の形成をめざし、各種事業を実施した。

○母子保健事業

・母子保健費 6,672千円（前年度 7,446千円）

①母子手帳の交付 57人（前年度 78人）

②健康教育 1回 延べ9人（前年度 3回 延べ32人）

③栄養関係 7回 59人（前年度 7回 53人）

④妊婦健康診査

対象 104人 延べ688人（前年度 対象 113人 延べ863人）

⑤健康相談 妊産婦 延べ385人（前年度 延べ416人）

乳幼児 延べ580人（前年度 延べ645人）

- ⑥栄養相談 妊娠期 延べ56人(前年度 延べ79人)  
乳幼児期 409人(前年度 354人)
- ⑦家庭訪問 妊産婦 延べ114人(前年度 延べ146人)  
乳幼児 延べ117人(前年度 延べ149人)

⑧歯科保健

- (1)乳幼児の歯科保健指導 226人(前年度 180人)
- (2)1歳口腔検診・フッ素塗布  
114人 83.2%(前年度108人 72.0%)
- (3)1歳6か月健診における歯科検診 75人(前年度 59人)
- (4)3歳児健診における歯科検診 78人(前年度 70人)
- (5)年長児の集団におけるフッ素洗口事業 4カ所(前年度 同数)

- ・乳幼児健康診査 1,364千円(前年度 1,256千円)

区分	令和2年度			平成31年度		
	回数	受診者数	受診率	回数	受診者数	受診率
4か月児健康診査	6回	76人	100%	5回	52人	100%
18か月児健康診査	6回	75人	100%	5回	59人	100%
3歳児健康診査	6回	78人	100%	6回	70人	100%

- ・子ども生活習慣病予防健診(かみふっ子健診)

- ①小学5年生 受診者74人 83.1%(前年度 71人 78.0%)
- ②中学2年生 受診者78人 75.7%(前年度 61人 75.3%)  
健診後結果説明会 4回 45人(前年度 3回 45人)  
健診後個別相談 52人(前年度 47人)  
健診後栄養相談 27人(前年度 31人)

- 小児予防接種 25,188千円(補助含む)(前年度 29,330千円)

- ・定期予防接種

種類	令和2年度		平成31年度	
	乳幼児	学童・生徒	乳幼児	学童・生徒
二種混合 追加	—	88人	—	93人
四種混合	280人	—	277人	—
ヒブ	261人	—	270人	—
肺炎球菌	260人	—	271人	—
麻しん・風しん混合	140人	—	146人	—
不活化ポリオ	—	—	—	—
BCG	71人	—	66人	—
子宮頸がん予防	—	—	—	—
水痘ワクチン	143人	—	129人	—
日本脳炎ワクチン	201人	406人	248人	928人
B型肝炎ウイルス	191人	—	204人	—
ロタウイルス(新規) (R2.10~)	57人	—	—	—
計	1,604人	494人	1,611人	1,021人

- ・小児任意予防接種費助成

種類	令和2年度	平成31年度	備考
ロタウイルス	67人	132人	令和29年度まで
おたふく	72人	83人	
インフルエンザ	1,307人	1,465人	

- 子ども医療費給付 16,195 千円(前年度 24,555 千円)
  - ・就学前幼児受給対象者 444 人(前年度 454 人)
  - ・小学生入院受給者 57 人(前年度 同数)
- 未熟児養育医療費給付
  - ・養育医療費 478 千円(前年度 1,542 千円)
  - ・受給者 1 人(前年度 4 人)
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 1,985 千円(新規)

公衆・環境衛生事業

- 葬斎場・墓地管理
  - ・墓地使用許可 100 千円(前年度 200 千円)
    - 内訳：H27 造成地 100 千円(前年度 H27 造成地 200 千円)
  - ・葬斎場・墓地管理業務 4,930 千円(前年度 4,886 千円)
  - ・中央共同墓地草刈業務 852 千円(前年度 832 千円)
  - ・東中共同墓地草刈業務 240 千円(前年度 232 千円)
  - ・葬斎場火葬炉補修 3,960 千円
- 畜犬登録、野犬掃討業務 2,569 千円(前年度 2,002 千円)
- 旧ゴミ埋立地管理 460 千円(前年度 460 千円)

清掃処理事業

- 一般廃棄物収集業務委託 51,788 千円(前年度 51,318 千円)
  - ・市街地及び缶、瓶、紙類等 25,080 千円(前年度 24,852 千円)
  - ・農村部及び PET ボトル、粗大ごみ 13,112 千円(前年度 12,993 千円)
  - ・生ごみ 13,596 千円(前年度 13,473 千円)

富良野広域圏一般廃棄物分担処理関係

一般廃棄物を効率的、経済的に処理するために、富良野広域圏 5 市町村が、それぞれ分担して一般廃棄物の処理を行うこととしている。

本町においては、衛生用品(可燃ごみ)と粗大ごみを担当することとし、受け入れを行っている。

- 他市町村の衛生用品(可燃ごみ)及び粗大ごみの受け入れ

- ・受入量 1,047,160kg(前年度 1,063,660 kg)
- ・収入金額 56,367 千円(前年度 47,656 千円)

- プラスチック類処理負担金(中富良野町)

- ・搬入量 52,222 kg(前年度 50,445 kg)
- ・処理負担金 1,416 千円(前年度 1,298 千円)

- 生ごみ、し尿、浄化槽汚泥処理負担金(富良野地区環境衛生組合)

- ・搬入量
  - ①生ごみ 551,260 kg(前年度 626,930 kg)
  - ②し尿 985,460 ㍓(前年度 1,067,180 ㍓)
  - ③浄化槽汚泥 881,100 ㍓(前年度 1,017,500 ㍓)

ごみ減量化事業

地域の環境保全のため、ごみの分別収集区分を 14 種 17 分別とし、減量化、資源化を推進している。

- 分別収集

- ・処理委託費 823 千円(前年度 636 千円)
- ・売払収入 3,628 千円(前年度 3,818 千円)

品目	内訳	令和 2 年度	平成 31 年度
廃乾電池 蛍光灯等	収集量	4,760kg	4,910kg
	処理費	746 千円	573 千円

空き瓶 (白・茶・その他)	収集量	95,770kg	79,370kg
	処理費	77千円	63千円
空き瓶 (リターナブル瓶)	収集量	7,030kg	7,720kg
	売払収入	31千円	39千円
空き缶 (アルミ・スチール)	収集量	59,290 kg	60,690 kg
	売払収入	1,205千円	1,441千円
紙類	収集量	214,870 kg	195,790 kg
	売払収入	1,643千円	1,466千円
廃食用油	収集量	1,525 ㍓	1,345 ㍓
	売払収入	7千円	7千円
布類	収集量	2,361 kg	2,413 kg
	売払収入	2千円	2千円
小型電気・ 電子機器	収集量	10,874 kg	15,910 kg
	売払収入	10千円	13千円
鉄くず (2級・プレス缶B)	回収量	40,880 kg	36,720 kg
	売払収入	178千円	183千円
PET ボトル	収集量	54,520 kg	58,410 kg
	売払収入	552千円	667千円

○ごみ処理手数料

- ・指定容器等（収入証紙）による収入 26,371千円(前年度 25,154千円)
- ・直接搬入による収入 16,619千円(前年度 16,735千円)

○一般廃棄物有料化対策関係

	令和2年度		平成31年度	
	枚数	千円	枚数	千円
一般ごみ指定袋(45L)	166千枚	3,570千円	170千枚	3,555千円
一般ごみ指定袋(30L)	64千枚	1,366千円	58千枚	1,143千円
不燃ごみ指定袋(45L)	26千枚	568千円	23千枚	489千円
不燃ごみ指定袋(30L)	10千枚	212千円	7千枚	144千円
製版代		119千円		117千円
粗大処理券(500円)	実績なし	—	1千枚	35千円
収入証紙売りさばき手数料		1,987千円		1,871千円
計		7,822千円		7,354千円

クリーンセンター  
施設運営

上富良野町クリーンセンターは、稼働から21年を経過し、中間処理施設の経年劣化も見受けられるが、計画的な修繕と維持管理を行い管理費用の平準化を図っている。

○稼働日数 309日(前年度 同数)

○ごみ処理量

- ・中間処理施設 焼却処理 2,691t(前年度 2,706t)  
リサイクル化 1,082t(前年度 1,111t)
- ・最終処分場 埋立処理 667t(前年度 651t)

○クリーンセンター管理費

	令和2年度	平成31年度
需用費	48,502千円	44,757千円
消耗品費	9,493千円	8,777千円
燃料費	8,947千円	9,574千円
光熱水費	19,902千円	21,617千円



修繕費	10,160 千円	4,789 千円
役務費	1,061 千円	1,015 千円
委託料	85,357 千円	86,408 千円
使用料及び賃借料	61 千円	22 千円
工事請負費	22,116 千円	60,282 千円
原材料費	135 千円	192 千円
負担金補助及び交付金	1,000 千円	1,000 千円
公課費	31 千円	31 千円
合 計	158,263 千円	193,707 千円

合併浄化槽整備事業

公共下水道整備計画区域外を対象に、し尿と生活雑排水を適正処理することにより、公衆衛生の向上と水質環境保全を目的に、合併処理浄化槽の新設に対し設置助成を行っている。

○合併浄化槽設置整備事業:整備率 63.7%(前年度 63.1%)

設置補助	令和2年度	平成31年度
助成金額	3,060 千円	13,320 千円
5人槽	1基	11基
7人槽	2基	2基
10人槽	実績なし	1基
計	3基	14基

○合併浄化槽設置整備促進事業

	令和2年度		平成31年度	
便器1基(助成60千円)	1戸	60千円	9戸	540千円
便器2基(助成90千円)	実績なし	—	1戸	90千円
排水設備(助成10千円)	1戸	10千円	11戸	110千円
単独浄化槽廃止(助成50千円)	実績なし	—	実績なし	—

環境対策促進事業

100W以上の既存ランプをLED化することにより、町内会の維持管理コストの削減、省エネ及びCO2削減につながるため、町内会で設置している生活灯のLED化に対して補助を行っている。

	補助率	令和2年度		平成31年度	
第1種生活灯	70%	25灯	826千円	25灯	1,205千円
第2種生活灯	90%	9灯	428千円	3灯	192千円

上水道整備費

他会計に対する諸対策

○水道事業会計負担 4,897 千円(前年度 4,397 千円)

○簡易水道事業特別会計繰出 46,894 千円(前年度 42,655 千円)

飲料水供給施設整備等

○飲料水供給施設維持管理費 3,568 千円(前年度 5,974 千円)

## 労働費

### 労働諸費

#### 労働環境整備

- 富良野地域人材開発センター運営協会負担 513 千円(前年度 同額)  
富良野地域における中小企業労働者、求職者及び地域住民の各種教育訓練等
  - ・上富良野町利用状況 延べ816 人(前年度 延べ946 人)
- 富良野広域圏通年雇用促進協議会負担 143 千円(前年度 80 千円)  
富良野地域における季節労働者通年雇用化の取組み
  - ・上富良野町季節労働者数 188 人(前年度 205 人)

# 農 林 業 費

## 農 業 費

### アグリパートナー事業

- 上富良野町アグリパートナー協議会負担金 150千円(前年度 同額)
  - ・サマーフェスティバル事業及びオータムフェスティバル事業への参画
  - ・農業後継者事業(結婚記念品) 3件(前年度 2件)
  - ・後継者家族交流会 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 実績なし)
  - ・結婚相談員研修会 実績なし(前年度 実績なし)
  - ・家族経営協定締結 2件 累計88件(前年度 3件)
  - ・協議会事業について調査研究
- 富良野地方アグリパートナー協議会事業負担金 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により負担金なし 前年度 408千円)
  - ・農業後継者パートナー対策事業
    - ①第41回サマーフェスティバル事業 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 実績なし)
    - ②第10回オータムフェスティバル事業 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 2人参加)
    - ③第2回・第3回札幌交流会事業(11月、12月に開催予定) 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 1人参加)
  - ・地域情報誌、ホームページの掲載
  - ・協議会運営について研究協議

### 農地流動化対策

- 農地流動化の対策
  - ・売買 14件 65.08ha(前年度 40件 192.68ha)
    - 田 17.98ha(前年度 66.98ha)
    - 畑 47.10ha(前年度 125.70ha)
  - ・賃貸借 6件 44.99ha(前年度 3件 18.95ha)
    - 田 6.39ha(前年度 実績なし)
    - 畑 38.60ha(前年度 18.95ha)
- 農地権利移動の状況
  - ・農地法第3条許可 49件 388.66ha(前年度 42件 248.64ha)
    - 田 112.69ha(前年度 73.25ha)
    - 畑 273.40ha(前年度 175.39ha)
    - 牧場 2.57ha(前年度 実績なし)

	件数	田(ha)	畑(ha)	牧場	計(ha)
(ア) 売買	12件	1.53ha	24.25ha	0.0ha	25.78ha
(イ) 賃貸借	20件	15.75ha	42.93ha	0.0ha	58.68ha
(ウ) 使用貸借	15件	93.14ha	188.95ha	2.57ha	284.66ha
(エ) 贈与	2件	2.27ha	17.27ha	0.0ha	19.54ha

- 農地転用の状況
  - ・農地法第4条転用 実績なし(前年度 10件 4.77ha)
    - 田 実績なし(前年度 実績なし)
    - 畑 実績なし(前年度 4.77ha)
  - ・農地法第5条転用 8件 2.79ha(前年度 5件 1.07ha)
    - 田 0.1ha(前年度 実績なし)
    - 畑 2.69ha(前年度 1.07ha)

- 農地保有合理化促進特別事業  
北海道農業開発公社管理委託業務  
公社への売渡 1件 19,54ha(前年度 1件 22,08ha)  
公社から買受 2件 90,13ha(前年度 実績なし)
- 遊休農地対策状況  
農地パトロール及び耕作放棄地調査(10月23日実施)  
対象地 5カ所 17,19ha(前年度 5カ所 5,16ha)  
うち非農地判定 0件(前年度 同数)

農業経営改善の指針

- 農業経営基盤の強化促進に関する基本的構想  
北海道知事の承認 平成29年2月20日
- 認定農業者数(令和3年3月31日現在) 認定総数 226人  
令和2年認定数 65人(前年度 80人)
  - ・新規認定 9件 うち法人0件(前年度 7件 うち法人2件)
  - ・再認定 56人 うち法人4件(前年度 73人 うち法人5件)
- 農業経営基盤強化資金利子補給  
64件 1,822千円(前年度 73件 2,340千円)  
資金貸付総額 1,547,620千円(前年度 2,340,410千円)  
融資残高 526,016千円(前年度 613,861千円)  
補給期間 平成25年度～令和13年度

農業担い手育成対策

- 担い手サポート奨励金 3件 720千円(前年度 4件 960千円)
- 農業次世代人材投資資金 2件 3,750千円(前年度 同数同額)
- 新たな農業担い手育成等支援事業 558千円(前年度 488千円)
  - ・研修学費支援 4件 313千円(前年度 3件 243千円)
  - ・住居(家賃)等支援 1件 240千円(前年度 同数同額)
  - ・研修受入支援 実績なし(前年度 実績なし)
  - ・固定資産税支援 1件 5千円(前年度 同数同額)

農業生産体制の強化

- 上富良野演習場周辺農業用施設設置助成事業【防衛事業】  
(補助率2/3以内:国庫間接補助)  
事業主体 ふらの農業協同組合  
事業費 44,814千円(前年度 50,553千円)  
補助額 29,875千円(前年度 33,702千円)  
事業内容 農業用機械導入(レーザーレベラー11台)
- 経営体育成支援事業(補助率3/10:国庫間接補助)  
事業費 1件 1台 13,200千円(前年度 実績なし)  
補助額 3,000千円(前年度 実績なし)
- 中山間地域等直接支払事業(補助率:国1/3、道1/3、町1/3)  
事業者 上富良野町集落協議会  
交付金額 90,938千円(前年度 91,491千円)  
主な協議会事業

※( )内は前年度

事業名	事業費	事業概要等	備考
直接支払金	43,724 (43,913) 千円	対象となる農地の耕作者 への直接支払分	191 (196) 経営体

地区配分金	23,610 (23,789) 千円	各地区活動組織が行う草刈、農道補修、土砂上げ等の経費に対する交付金	12 地区
家畜防衛衛生指導事業等負担	2,600 (同額) 千円	別途記載 （『畜産業の振興』参照）	
有害鳥獣被害防止	8,777 (9,766) 千円	猟友会運営助成、有害鳥獣駆除謝礼、狩猟免許取得補助、電牧柵整備事業等	アライグマ 221 頭 ヒグマ 9 頭 エゾカ 145 頭外
農業研修助成	57 (13) 千円	複数の農業者が行う研修費助成	
小規模土地改良事業	1,047 (780) 千円	ストーンクラッシャーによる除礫への助成	
排水対策	621 (403) 千円	雨による湿害の軽減を図るため暗渠資材の助成	

○環境保全型農業直接支援対策（補助率：国 1/2、道 1/4、町 1/4）

交付件数 20 件(前年度 18 件)

交付金額 20,728 千円(前年度 15,788 千円)

交付対象面積 27,999a (前年度 22,196a)

対象取組別内訳

カバークロップ 5,104a(前年度 5,676a)

リビングマルチ 3,071a(前年度 1,898a)

有機農業 4,466a(前年度 9,152a)

有機農業+加算措置（新規取組） 5,219a

○平成 22 年高温多雨等農業経営維持資金利子等補給

（限度額：令和 2 年度までの債務負担行為 13,150 千円）

助成額 31 件 177 千円(前年度 32 件 367 千円)

○平成 23 年集中豪雨等農業経営維持資金利子等補給

（限度額：令和 3 年度までの債務負担行為 9,443 千円）

助成額 16 件 126 千円(前年度 16 件 188 千円)

○平成 30 年低温長雨等農業経営維持資金利子等補給

（令和 10 年度までの債務負担行為 5,420 千円）

助成額 30 件 851 千円(前年度 30 件 892 千円)

○収益向上作物生産振興事業 9 件 8,797 千円(前年度 11 件 9,516 千円)

①新規・増反：施設（ハウス） 4 件(前年度 2 件)

施設設備費 1 件(前年度 同数)

作業用機械等 2 件(前年度 同数)

苗代 1 件(前年度 同数)

②更 新：施設（ハウス） 実績なし(前年度 2 件)

施設設備費 実績なし(前年度 1 件)

作業用機械等 1 件(前年度 2 件)

③新規+更新：施設（ハウス） 実績なし(前年度 実績なし)

○食料産業・6 次産業化支援事業（新規）

（補助率：1/2 以内 国庫間接補助）

事業費 28,391 千円

補助額 10,976 千円

加工実習施設の 管理運営	<p>○スマート農業促進特別対策事業（新規） 導入支援件数 35件 13,630千円</p> <p>○畑作構造転換事業（新規）【繰越明許】 事業主体 いらの農業協同組合（取組み件数 29件） 補助額 6,173千円</p>
畜産業の振興	<p>○施設の利用及び管理運営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間利用者数 631人(前年度 786人)</li> <li>・使用料 198千円(前年度 300千円)</li> <li>・管理経費 1,129千円(前年度 1,276千円)</li> </ul> <p>○家畜の疾病予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疾病予防対策事業負担（町負担事業から中山間事業へ移行） 実施主体 上富良野町家畜自衛防疫組合 事業費 22,059千円(前年度 7,516千円) 負担額 600千円(前年度 同額)</li> <li>・獣医師活動費負担（町負担事業から中山間事業へ移行） 実施主体 北海道中央農業共済組合 負担額 2,000千円(前年度 同額)</li> </ul> <p>○家畜の体力増強（富良野広域連合 公共串内牧場） 町内農業者放牧頭数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳用牛 91頭 延べ12,030頭(前年度 71頭 延べ9,680頭)</li> <li>肉用牛 50頭 延べ5,766頭(前年度 54頭 延べ6,358頭)</li> <li>計 141頭 延べ17,796頭(前年度 125頭 延べ16,038頭)</li> </ul>
草地畜産整備事業	<p>○道営草地畜産基盤整備事業（いらの地区）【繰越明許費を含む】 負担金 17,812千円(前年度 6,018千円) 事業内容 草地整備、用地造成</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">林業費</div> 林業の振興	<p>○森林の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工造林 34.85ha 5,896千円(前年度 26.54ha 4,231千円)</li> <li>・除間伐 111.09ha 611千円(前年度 159.87ha 879千円)</li> </ul> <p>○森林作業員就業条件整備事業 助成 12件 262千円(前年度 10件 210千円)</p> <p>○私有林整備推進（森林環境譲与税活用）（新規） 間伐 21.21ha 4,125千円</p> <p>○森林環境譲与税基金積立 2,975千円(前年度 5,147千円)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">耕地費</div> 国営造成施設 管理体制整備促進	<p>○施設管理体制強化補助等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富良野地区 550千円(前年度 同額)</li> <li>・しろうね地区 1,519千円(前年度 同額)</li> </ul>
国営土地改良事業 負担対策等	<p>○国営土地改良事業負担対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しろうね地区かんがい用水利用補助 1,450千円(前年度 同額)</li> </ul>

農道・耕地の整備

- ・しろがね地区基幹水利施設管理事業負担金 3,530千円(前年度 3,731千円)

○農業生産基盤の整備

- ・東中中央地区道営経営体育成基盤整備事業【繰越明許費を含む】  
負担金 実績なし(前年度 3,010千円)  
補助金 14,186千円(前年度 39,615千円)  
事業内容 付帯工
- ・東中南地区道営経営体育成基盤整備事業【繰越明許費を含む】  
負担金 実績なし(前年度 実績なし)  
補助金 176千円(前年度 11,362千円)  
事業内容 換地費
- ・東中西地区道営経営体育成基盤整備事業【繰越明許費を含む】  
負担金 実績なし(前年度 実績なし)  
補助金 6,674千円(前年度 13,226千円)  
事業内容 付帯工
- ・東中第一地区道営経営体育成基盤整備事業【繰越明許費を含む】  
負担金 33,018千円(前年度 64,928千円)  
補助金 50,203千円(前年度 48,158千円)  
事業内容 区画整理 70.0ha
- ・東中東部地区道営経営体育成基盤整備事業【繰越明許費を含む】  
負担金 25,864千円(前年度 17,879千円)  
補助金 62,884千円(前年度 87,963千円)  
事業内容 区画整理 52.0ha、用水路 4,840m、排水路 1,669m
- ・北 17 号道路道営農地整備事業【繰越明許費を含む】  
負担金 17,684千円(前年度 29,359千円)  
事業内容 改良工 448m、舗装工 552m
- ・東中地区換地業務(全地区合計)  
事業費 2,644千円(前年度 2,513千円)  
内訳 東中中央地区 事業費 166千円(前年度 372千円)  
東中南地区 事業費 1,223千円(前年度 141千円)  
東中西地区 事業費 111千円(前年度 21千円)  
東中第一地区 事業費 950千円(前年度 936千円)  
東中東部地区 事業費 194千円(前年度 1,043千円)
- ・島津第 2 地区道営農業水利施設保全合理化事業【繰越明許費を含む】  
負担金 4,484千円(前年度 2,373千円)  
補助金 18,591千円(前年度 4,745千円)  
事業内容 区画整理 16.0ha、用水路 1,263m
- ・上富良野地区道営農村地域防災減災事業  
(西 1 線排水路・日の出排水路)【繰越明許費を含む】  
負担金 14,547千円(前年度 29,527千円)  
事業費 用地取得 1,161千円  
物件調査 3,069千円  
移転補償 2,991千円  
事業内容 排水路工 236m
- ・農業基盤整備事業  
事業費 1,656千円(前年度 2,253千円)  
事業内容 暗渠 33.94ha

○農地等保全の整備(北海道多面的機能支払事業)

地域の活動組織が行う草刈、土砂上げ等、農地・農業用排水の保全管理に係る共同活動に対し補助を行った。

- 事業費 115,868千円(前年度 115,958千円)
- 受益面積 6,501ha(前年度 6,509ha)

○農道整備補助 1,183 千円(前年度 865 千円)

・砂利分

補助費 876 千円 11 件 砂利等 471 m<sup>3</sup>  
(前年度 780 千円 9 件 砂利等 436 m<sup>3</sup>)

・建設機械借上分

補助費 52 千円 1 件(前年度 55 千円 2件)

・農道橋分

補助費 255 千円 2 件(前年度 30 千円 1 件)



# 商 工 費

## 商 工 費

### 商 工 振 興 対 策

○セントラルプラザ管理委託 6,642 千円(前年度 6,667 千円)

#### 利用実績

商工業研修等施設 1,841 人(前年度 2,525 人)

中央地区学習等施設 3,055 人(前年度 4,362 人)

○中小企業融資

- ・融資のための預託 80,000 千円 (前年度 75,000 千円)
- 融資枠 320,000 千円 (前年度 225,000 千円)
- 経営環境対応特別資金(コロナ関連つなぎ融資)設置のため融資枠拡大
- 年平均利用率 77.65% (前年度 70.83%)
- 年度末融資残高 248,472 千円 (前年度 176,869 千円)
- 年度末総融資件数 95 件 (前年度 61 件)
- うちコロナ関連件数 49 件
- ・利子補給補助 3,276 千円 (前年度 1,759 千円)
- うちコロナ関連補助額 1,462 千円
- ・信用保証料補填補助 3,231 千円 (前年度 443 千円)
- うちコロナ関連補助額 2,911 千円

○商工振興事業補助 18,519 千円(前年度 19,199 千円)

- ・町商工会の人件費、事業費などへの補助
- ・空き店舗活用事業として管理費への補助
- コミュニティプラザ中茶屋利用者 6,933 人(前年度 7,366 人)

○プレミアム付商品券発行事業負担(新型コロナウイルス関連経済対策/2回)  
69,487 千円(前年度 13,967 千円)

- ・第1期(7~10月) 31,667 千円
- 概要 一律 30%のプレミアム付き商品券
- 取扱: 242 事業所、換金: 164 事業所
- 販売: 10,000 冊(1,635 世帯)
- ・第2期(12~3月) 37,821 千円
- 概要 一般世帯 30%、子育て世帯 50%のプレミアム付き商品券
- 取扱: 236 事業所、換金: 153 事業所
- 販売: 10,000 冊(2,055 世帯/うち子育て世帯 647 世帯)

○商工業者持続化補助 4,658 千円(前年度 6,890 千円)

○商工業者持続化補助(新型コロナウイルス感染症対策) 18,768 千円

○商工業販売促進事業(新型コロナウイルス関連経済対策) 11,309 千円

- ・「おうちでグルメ上富良野」クーポン事業負担
- 利用対象店舗 34 町内飲食店
- 利用枚数 17,022 枚(発行 30,000 枚)
- 利用率 56.7%
- ・「おうちでグルメ上富良野」食事券配布事業補助
- 利用対象店舗 クーポン事業対象店舗 34 町内飲食店
- 利用枚数 8,648 枚(発行 9,168 枚)
- 利用率 94.3%

○中小企業総合支援センター負担 30 千円(前年度 同額)

○かみふらの産業賑わい協議会事業 8,055 千円(前年度 4,800 千円)

- ・中央コミュニティ広場活用推進事業負担 900 千円(前年度 同額)
- ・人材育成事業負担 1,000 千円(前年度 同額)
- ・収穫祭事業負担 800 千円(前年度 同額)
- ・地場産品普及推進事業負担 200 千円(前年度 同額)

- ・プレミアム生ビール・ビアガーデン事業負担 700 千円(前年度 同額)
- ・ロケツーリズム事業負担 4,455 千円(前年度 1,200 千円)
- ※新型コロナウイルスの影響により、各種事業規模を縮小し実施

商工業後継者対策

○商工業後継者就業奨励補助 実績なし(前年度 実績なし)

企業振興対策

- 企業誘致補助 (2 社) 2,562 千円(前年度 7,878 千円)
  - ・利子助成 1,060 千円(前年度 1,530 千円)
  - ・雇用補助 1,500 千円(前年度 2,550 千円)
  - ・固定資産税補助 2 千円(前年度 3,798 千円)
- 主要立地企業表敬訪問 (11 月 16~19 日 首都圏)
- 新規開業等支援事業
  - ・事業費補助 3 件 4,500 千円(前年度 5 件 7,500 千円)
  - ・雇用奨励 実績なし(前年度 1 件 300 千円)
  - ・家賃補助 2 件 202 千円(前年度 3 件 585 千円)
  - ・特産品開発補助 実績なし(前年度 実績なし)
- 中小企業経営継続奨励助成事業 (新型コロナウイルス関連経済対策)
  - ・経営継続奨励助成第 1 期 (4~8 月)  
助成金交付 190 事業者 40,000 千円
  - ・飲食店経営継続奨励助成 (12~1 月)  
助成金交付 62 事業者 9,300 千円
  - ・経営継続奨励助成第 2 期 (3 月/令和 2 年度分)  
助成金交付 96 事業者 20,400 千円
  - ・飲食店等家賃支援、新スタイル導入促進支援 (9~2 月)  
助成金交付 47 事業者 6,854 千円

観光費

観光振興事業

- (一社)かみふらの十勝岳観光協会運営費補助  
観光協会の人件費、誘致事業費などへの補助  
18,822 千円(前年度 18,219 千円)
- 北海道自然公園協会負担 5 千円(前年度 同額)
- 国民保養温泉地協議会負担 実績なし(前年度 45 千円)※退会のため
- 観光振興計画推進事業
  - ・十勝岳線バス増便事業 (2 次交通改善) 502 千円  
登山利用者等の早朝の利便向上を図るための試行運行を実施  
運行期間 7 月~9 月までの土日祝日  
利用実績 50 人
  - ・かみふらの観光未来会議 (11 月 5 日・12 月 9 日 計 2 回) (前年度 3 回)
- 地域おこし協力隊(観光推進員)事業 3,640 千円(前年度 2,928 千円)

観光客誘致対策

- 単独観光キャンペーン
  - ・日の出公園ライトアップ&花火オンライン配信 (7 月 22 日)
- 富良野・美瑛広域観光推進協議会負担 1,400 千円(前年度 同額)
  - ・富良野美瑛観光人材育成アカデミー (8~12 月)
  - ・サイクルツーリズム招請事業 (6 月)
  - ・富良野・美瑛絶景スタンプラリー2021 (7~10 月)
  - ・ふらのびえいハッシュタグキャンペーン (7~2 月)
- 上川地方観光連盟負担 60 千円(前年度 147 千円)

	○大雪山国立公園連絡協議会負担 99 千円(前年度 同額)
	○大雪山国立公園パークボランティア運営協議会負担 100 千円(前年度 同額)
	○花人街道連携協議会負担 310千円(前年度 同額)
	・アリオ札幌花人街道キャンペーン(10月10~11日)
	○ラベンダー香り袋作成(12,000個) 843 千円(前年度 822 千円)
	○観光客入込客数
	・富良野・美瑛全体 3,904千人(前年度 8,002千人)
	・上富良野町 253 千人(前年度 598 千人)
	○誘客促進支援事業補助(新型コロナウイルス関連経済対策) 41,340 千円
	・宿泊キャンペーン第1期(7~10月)
	宿泊割引利用泊数 4,279 泊
	かみふらの観光応援クーポン利用件数(枚数) 6,754 件
	・宿泊キャンペーン第2期(11~1月)
	緊急事態宣言の発出により1月8日に事業終了
	宿泊割引利用泊数 1,438 泊
	かみふらの観光応援クーポン利用件数(枚数) 5,668 件
	・北海道スタイル定着化事業補助 21 施設
	・感染対策設備導入補助 9 施設
	○宿泊施設支援金交付事業補助(新型コロナウイルス関連経済対策)
	助成件数 16 件 3,000 千円
観光諸行事負担	○観光諸行事負担金 2,250 千円(前年度 8,900 千円)
	新型コロナウイルス感染症の影響により中止又は規模縮小
	内訳 日の出公園ライトアップ(花火) 200 千円(新規)
	花と炎の四季彩まつりの 実績なし
	(新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 7,100 千円)
	北の大文字 1,750 千円(前年度 800 千円)
	かみふらの雪まつり 300 千円(前年度 1,000 千円)
各種観光行事	○第42回十勝岳山開き(実施主体:観光協会) 6/19
	新型コロナウイルスの影響により安全祈願祭のみ実施
	(前年度 暴風のため安全祈願祭のみ実施)
	○第42回花と炎の四季彩まつり(実施主体:運営委員会)
	実績なし(新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 約 13,000 人)
	○第49回十勝岳温泉郷「紅葉まつり」(実施主体:観光協会)
	実績なし(新型コロナウイルス感染症の影響により中止 前年度 2,406 人)
	○第34回北の大文字(実施主体:運営委員会) 12月31日~1月1日
	新型コロナウイルスの影響によりオンライン配信にて実施
	(前年度 約 1,200 人)
	○第57回かみふらの雪まつり(実施主体:運営委員会) 1~2月
	新型コロナウイルスの影響によりおうちで雪まつり・雪像コンテストのみ実施
	(前年度 約 1,800 人)
	○日の出公園観光シーズン駐車場対策
	実績なし(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 1,697 千円)
観光施設 維持管理事業	○避難小屋修理謝礼 50 千円(前年度 同額)
	・カミホロカメットク避難小屋修理

- 十勝岳地区施設維持管理 1,635 千円(前年度 1,561 千円)
- 十勝岳駐車公園公衆トイレ浄化槽管理 464 千円(前年度 441 千円)
- 登山コース・冬季スキーコース整備 176 千円(前年度 同額)
- 十勝岳温泉園地土地使用料 3 千円(前年度 同額)
- 吹上温泉保養センター運営管理 13,932 千円(前年度 4,036 千円)

		令和2年度	平成31年度
入館数		60,349 人	79,226 人
内訳	宿泊数	3,499 人	9,127 人
	日帰り	56,850 人	70,099 人

- 吹上温泉保養センター浴場改修 6,600 千円【調整交付金事業】
  - サウナ室(男女)天井板等張替、サウナヒーター更新
- 吹上温泉地区温泉成分分析測定 実績なし(前年度 275 千円)
- 吹上温泉保養センター等土地使用料 26 千円(前年度 33 千円)
- 吹上温泉保養センター泉源使用料 1,407 千円(前年度 1,394 千円)
- 吹上露天の湯泉源使用料 544 千円(前年度 539 千円)
- 旧白銀荘敷地土地使用料 3 千円(前年度 同額)
- 深山峠コミュニティ広場等管理 3,531 千円(前年度 2,639 千円)
  - ・施設管理委託 2,661 千円(前年度 2,639 千円)
  - ・施設整備工事 870 千円(前年度 実績なし)
    - トイレ(男性用)ストープ改修工事 1 式 398 千円
    - 浄化槽フローア-取替工事 1 基 472 千円
- 千望峠駐車公園等管理 2,225 千円(前年度 2,392 千円)
- 道道吹上線ラベンダー等管理 1,485 千円(前年度 1,405 千円)
- 道道美沢線駐車公園管理 1,258 千円(前年度 1,112 千円)

# 土 木 費

## 道路橋梁費

### 道路維持

道路利用者の安全・快適な通行を支えるため、舗装補修、歩道、側溝の補修・新設、安全施設の修繕・新設などの業務を請負にて行った。

路面清掃、草刈、附帯施設の管理及び冬期間の除排雪等の道路維持管理については民間委託により、効率的な維持と安全の確保を行っている。

○町道維持管理 19,363 千円(前年度 22,643 千円)

- ・区画線設置工事 1,881 千円(前年度 1,793 千円)
- ・町道舗装維持補修 5,896 千円(前年度 14,472 千円)
- ・町道交通安全対策施設設置 627 千円(前年度 626 千円)
- ・道路側溝補修 6,820 千円(前年度 実績なし)
- ・町道維持管理用資材購入 4,139 千円(前年度 5,752 千円)

○町道維持管理(委託分) 197,238 千円(前年度 130,018 千円)

- ・町道等維持管理 40,977 千円(前年度 46,021 千円)

車道 L=415.1 km 歩道 L=43.1 km

- ・町道除排雪 156,261 千円(前年度 83,997 千円)

除雪延長：車道 L=239.3 km 歩道 L=26.1 km

○簡易舗装整備 15,829 千円(前年度 17,615 千円)

- ・東町4丁目2条通り簡易舗装工事 5,687 千円 L=96.72 m
- ・西町公園通り外1簡易舗装工事 10,142 千円 L=171.7 m

○郊外道路舗装 7,095 千円(前年度 3,425 千円)

北20号東道路簡易舗装工事 L=382.6 m

### 道路新設改良

○道路改良・舗装 33,948 千円(前年度 50,092 千円)

- ・新町4丁目1番通り改良舗装工事【調整交付金事業】  
15,565 千円 L=71.7 m
- その他 1,628 千円
- ・本町4丁目3番通り改良舗装工事(測量設計)【調整交付金事業】  
4,125 千円 L=156 m
- ・北24号道路舗装補修 12,630 千円
- 費用便益資料作成業務 交通調査一式 1,430 千円
- 改良舗装工事(測量設計)【防衛事業】 11,000 千円 L=550 m

### 橋梁新設改良

○橋梁長寿命化修繕事業 83,072 千円(前年度 47,641 千円)

- ・五丁目橋補修工事 74,250 千円
- ・東橋補修工事 7,920 千円
- ・その他 902 千円

## 河川費

### 河川管理

○普通河川管理 1,021 千円(前年度 1,009 千円)

樋門、樋管操作管理(道河川38基) 847 千円(前年度 同額)

○普通河川護岸補修工事 14,696 千円

- ・鰻沢川護岸補修工事 9,339 千円 L=60.97 m
- ・旭川護岸補修工事 5,357 千円 L=25 m

障 害 防 止 対 策

- 南部地区土砂流出対策【防衛事業】 101,040 千円(前年度 82,739 千円)  
演習場内を流れるベベルイ川について、平成 28 年度災害により被災した箇所を国債事業により復旧工事を行った。
  - ・南部地区土砂流出対策工事（ベベルイ川）（R1 国債） 78,691 千円  
流路工 L=369.2m
  - ・南部地区土砂流出対策工事（ベベルイ川）（R2 国債） 20,054 千円  
流路工 L=366.3m（※R2 支出分は前払いのみ）
- 東 1 線排水路整備【防衛事業】 23,937 千円(前年度 46,773 千円)  
上富良野駐屯地からの雨水、排水処理のため設置された当該水路が、駐屯地拡張に伴う流出量増加及び経年変化による水路損傷が発生しているため、これらの整備のため工事を行った。
  - ・東 1 線排水路整備工事（R1 国債） 23,241 千円  
排水路工 L=113.19m

都 市 計 画 費

公 園 の 管 理

- 日の出公園管理費 87,309 千円(前年度 59,805 千円)
  - ・施設管理委託（指定管理） 27,446 千円(前年度 28,070 千円)
  - ・駐車場拡張整備事業委託 600 千円  
内訳 土地鑑定 110 千円  
用地確定測量 490 千円
  - ・施設整備工事 10,675 千円(前年度 31,396 千円)
    - ①ステージ他改修工事 1,271 千円 1 式
    - ②炊事棟改修工事 1,462 千円 1 棟
    - ③法面改修工事 1,991 千円 23.2 ㎡
    - ④エントランスゾーン平板改修工事 209 千円 3.01 ㎡
    - ⑤展望台屋上防水改修工事 4,312 千円 192 ㎡
    - ⑥コテージ外部改修工事 1,430 千円  
内訳 外壁塗装 55.2 ㎡  
屋根塗装 113 ㎡
  - ・公有財産購入費 48,310 千円  
駐車場拡張整備事業用地購入 15,096.83 ㎡
- 公園費一般管理費 37,120 千円(前年度 20,009 千円)
  - ・施設管理委託 6,550 千円(前年度 6,308 千円)
  - ・公園等遊具劣化点検業務（新規） 616 千円 100 基
  - ・施設整備工事 23,650 千円(前年度 6,212 千円)
    - ①島津公園池柵改修工事 16,291 千円 L=492m H=0.8m
    - ②島津公園樹木植栽工事 1,140 千円 5 本
    - ③中央コミュニティ広場フェンス塗装工事 3,886 千円 L=561m
    - ④公園工事遊具整備工事 1,541 千円 11 基
    - ⑤倒木災害処理工事 792 千円 4 施設
  - ・公園緑地等維持管理交付金 1,242 千円(前年度 1,019 千円)  
交付対象 12 住民会

他会計に対する諸対策

- 公共下水道事業特別会計繰出 146,306 千円(前年度 147,540 千円)

地 籍 管 理

- 地籍図、集成図異動事項修正業務 1,386 千円(前年度 1,091 千円)

**住 宅 費**

個人住宅の  
リフォーム促進

○住宅リフォーム等助成事業

- ・交付件数 23件(前年度 30件)
- ・総工事費 47,743千円(前年度 43,139千円)
- ・対象事業費 22,042千円(前年度 34,232千円)
- ・助成額 2,548千円(前年度 3,929千円)

公営住宅の管理

○管理経費 12,762千円(前年度 12,142千円)

○管理戸数 年度末現在 389戸(前年度 同数)

公営住宅の整備

○泉町南団地建替

- ・外構工事修正設計 1,287千円

今日、社会が急激に変化する中で、人口減少と少子高齢化や生活の多様化、情報機器の普及など教育を取り巻く環境は変化を続けている。

こうした中、「ふるさとに学び 人が輝き 人がつながる かみふらのの教育」を教育理念に掲げ「教育振興基本計画」に基づき、家庭・学校・地域が連携するとともに、総合教育会議において町長と教育委員会が協議をし、令和2年度教育行政の推進に努めた。

## (1) 学校教育

新型コロナウイルス感染症の影響により、長期間の休校となったことから、学びの保障を優先した学校運営となった。感染防止を最優先とした中で、学びの継続と教育課程の完了を目指し、学校行事や授業の工夫改善と感染防止のための環境整備を図った。

学力向上、体力づくりの面では、十分な取組が困難な状況であったが、限られた環境の中で、新たな取組や工夫改善が進み、これまでとは違った「学校力・教師力」の向上が図られた。不登校・いじめ・障がい・ネットトラブルなど、問題を抱えている児童生徒に対し、特別支援教育指導助手、学校教育アドバイザー及び各関係機関との連携協力によって、個別の支援体制や助言と指導を行い、問題の解決や未然防止、早期発見に努めるとともに、「いじめ防止基本条例」に基づきいじめ防止に努めた。また、コロナ禍における、子どもたちの不安を最小限とし、安全・安心な学校生活の維持に努めた。

上富良野高校の存続・振興に向けては、高校と協力して生徒募集に積極的に取り組んだ。

教育環境づくりについては、新型コロナウイルスへの対応によりGIGAスクール構想が大幅に前倒しとなり、全児童生徒の1人1台タブレットが実現した。整備、運用にあたっては、ICT教育推進委員会を設置し、学校現場と協議しながら、円滑に進めることができた。

また、学校における働き方改革の取組については、校務支援システムの導入等により業務内容の改善が図られたほか、道教委派遣のスクール・サポート・スタッフや学習指導員を活用し、教職員の業務軽減に取り組んだ。

## (2) 社会教育

社会教育基本方針に基づき、「豊かな心と健やかな体を育み、うるおいのある地域づくりをめざす生涯学習の推進」に努めた。

第9次社会教育中期計画に基づき、家庭・学校・地域社会の持つ教育機能の充実や連携・融合を図る実践に努め、社会教育推進目標に掲げた芸術文化振興では「郷土を愛し、豊かな情操と創造を育む文化活動」、スポーツ振興では「豊かな心と健やかな体を育むスポーツ活動」と、各領域で生涯にわたる学習や社会参加への意欲を高める社会教育の推進に努めた。

社会教育推進の基盤となる社会教育施設については、社会教育総合センター玄関テラス改修、暖房配管ラインポンプ取替修理、玄関前階段修理、集会室系統換気ファン取替修理、B&G海洋センタープール内洗眼・横水飲み水栓取替修理、運動公園野球場擁壁補修、テニスコート改修工事など施設整備を行った。

また、児童の放課後対策の一環として、留守家庭児童の安全と健全育成を目的とした放課後児童健全育成事業として放課後クラブの運営及び放課後子ども教室事業（放課後スクール）を継続実施し、子どもの居場所づくり事業の充実を図った。



新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出により、公共施設臨時休館、町民参加事業の中止、自粛などによる利用者数の減少はあるが、感染防止対策に重点を置き、感染者を発生させることなく施設の開館や総合文化祭、成人式を実施した。

**教育総務費**

教育活動振興助成

- 学校教育アドバイザーの設置 3,119千円(前年度 2,405千円)
- 上富良野町学校教育振興協議会負担 1,478千円(前年度 1,428千円)

児童生徒表彰

- 児童生徒表彰(児童生徒教育振興基金事業) 89千円(前年度 152千円)
  - ・教育賞 18件(前年度 62件)
  - ・教育奨励賞 25件(前年度 29件)
  - ・教育特別賞 1件(前年度 2件)

上富良野高等学校  
振興策

上富良野高校の将来展望に立ち、特色ある地域に根ざした学校づくりを図った。また、入学生徒確保のため、通学費等の経済的支援を行った。令和2年度から希望生徒(44人)に対する給食の提供を開始した。

- 上富良野高等学校教育振興会補助 3,695千円(前年度 3,616千円)
- 上富良野高等学校通学費等補助 6,150千円(前年度 5,323千円)

	令和2年度		平成31年度	
	人数	補助額	人数	補助額
入学準備金	30人	1,520千円	17人	860千円
通学費補助	17人	1,309千円	13人	695千円
就学支援金	55人	3,300千円	59人	3,510千円
下宿費補助	1人	21千円	1人	258千円

教育財産管理

- 教員住宅管理(管理戸数24戸) 6,713千円(前年度 3,597千円)
- 上富良野小学校教頭住宅改修工事 5,445千円

特別支援教育

- 特別支援教育指導助手 8,686千円(前年度 8,111千円)
- 上小2人 西小1人 上中1人
- 特別支援教育連絡協議会研修事業
- 道立特別支援教育センター移動講座 上富良野中学校 7人参加
- (前年度 50千円 2回 延べ68人参加)

外国語教育

- ALTの配置 2人 7,929千円(前年度 7,704千円)
- 外国語教材整備 20千円(前年度 496千円)

就学・教育相談

常勤のスクールカウンセラーとして臨床心理士を配置し、問題を抱える児童生徒・保護者に対し専門的な相談支援を行った。また、就学相談の充実を図るため、すくらむかみらの活用を推進するとともに、臨床心理士による検査体制の充実を図った。

ICT教育推進

国のGIGAスクール構想(児童生徒1人1台端末、高速ネットワーク環境整備)が大幅に前倒しとなり、全児童生徒のタブレット端末を整備した。また、前年度からの繰越で、上富良野小学校及び上富良野中学校の校内ネットワーク環境整備(充電保管庫設置含む。)を実施した。

○校内ネットワーク整備（繰越明許）上小・上中 16,280千円  
 ○GIGAスクール端末整備 839台 53,350千円  
 ○充電保管庫 西小6台 東中小4台 1,155千円

小 学 校 費

小 学 校  
管 理 運 営

○公開研究会 160千円(前年度 同額)  
 ○姉妹校交流事業補助（西小） 113千円(前年度 200千円)  
 ※三重県津市安東小学校への訪問交流を計画していたが、新型コロナウイルス感  
 染拡大により中止  
 ○新型コロナウイルス感染症対策  
 学校保健特別対策事業 7,206千円  
 ・ドーム型サーマルカメラ 715千円  
 ・気化熱式省エネ冷風機 9台 998千円  
 ・テーブル 348千円  
 ・上小洗濯乾燥機 50千円  
 ・西小洗濯機・テーブル 139千円  
 ・東中小電話機 385千円  
 ○ワイヤレス放送設備【調整交付金事業】 1,597千円

小 学 校 教 育  
基 盤 整 備

○小学校における教育基盤整備  
 ・上富良野小学校空調設備修繕 2,255千円  
 ・東中小学校体育館床ウレタン塗装 352千円

小 学 校 学 習 活 動

○学習支援員 2人 2,344千円(前年度 1,712千円)  
 ○「ちょこっと学習」 実績なし  
 (前年度 計7回 延べ81人参加(土曜日・長期休業8日間開催))  
 ○一般教材備品・児童用図書等購入 1,135千円(前年度 870千円)  
 ○学校行事負担 265千円(前年度 210千円)  
 ※東中小修学旅行バス使用分増額  
 ○総合的な学習負担 150千円(前年度 同額)  
 ○要保護及び準要保護児童(就学) 援助費 4,828千円(前年度 4,053千円)  
 要保護7人 準要保護56人  
 学用品費等、医療費、学校給食費、PTA会費の扶助  
 ○特別支援教育就学奨励費 1,474千円(前年度 1,526千円)  
 学用品費等、学校給食費、通学費の扶助(45名うち通級6名)  
 ○小学校学習活動交付金 344千円(前年度 385千円)

ス ク ー ル バ ス 運 行

○スクールバス運行业務委託 4路線 10,600千円(前年度 11,685千円)  
 ○学習活動バス借上 1,432千円(前年度1,376千円)  
 ※北海道の教育旅行支援事業活用

中 学 校 費

中 学 校 管 理 運 営

○公開研究会 70千円(前年度 同額)  
 ○新型コロナ感染症対策  
 学校保健特別対策事業 2,095 千円  
 ・ホワイトボード 44 千円  
 ・プロジェクター、スクリーン 302千円

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気化熱式省エネ冷風機8台 898千円</li> <li>・乾燥機、つい立て 142千円</li> </ul>
	○ワイヤレス放送設備【調整交付金事業】 999千円
中学校教育 基盤整備 中学校学習活動	<p>実績なし(前年度 354千円)</p> <p>○一般教材備品・生徒用図書等購入 244千円(前年度 200千円)</p> <p>○学校行事負担 60千円(前年度 同額)</p> <p>○総合的な学習負担 40千円(前年度 同額)</p> <p>○要保護及び準要保護生徒(就学) 援助費 3,896千円(前年度 3,669千円) 要保護4人 準要保護26人 学用品費等、医療費、学校給食費、PTA会費、クラブ活動費等の扶助</p> <p>○特別支援教育就学奨励費 500千円(前年度 350千円) 学用品費等、学校給食費の扶助 12名</p> <p>○中学校学習活動交付金 134千円(前年度 190千円)</p> <p>○北海道中学校体育大会等出場負担 100千円(前年度 772千円)</p> <p>○上富良野中学校楽器購入 7,031千円(新規)</p> <p>○教師用指導書・デジタル教科書購入 1,751千円(新規)</p>
給食センター整備	実績なし(前年度 5,962千円)
<b>社会教育費</b> 社会教育委員活動	<p>社会教育委員及び公民館運営審議会委員の活動を推進した。</p> <p>○会議の開催 5回 延べ65人(前年度 4回 延べ49人)</p> <p>○研修会への参加 1回 3人(前年度 2回 6人)</p>
少年教育	<p>○学習機会と活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発明くふう作品展出展数(児童生徒教育振興基金事業) 4点(前年度 19点) <ul style="list-style-type: none"> <li>①子ども科学技術振興作品展に4点を出品 3点入選</li> <li>②北海道青少年科学技術振興作品展に3点出品 3点入選</li> <li>③全日本学生児童発明くふう展へ2点応募 書類審査で全国なし</li> </ul> </li> </ul> <p>○学校地域支援本部事業 学校支援ボランティア登録数 個人・団体延べ76人(前年度 同数) 支援事業(新型コロナウイルスの影響により支援依頼なし) (前年度 ①参観日等の託児 2校(上小・上西小) ②体カテスト支援 2校(上小・上西小) ③チャレンジ博覧会託児 1校(上西小))</p> <p>○リーダーの養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少年の主張上川地区大会 実績なし (新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 上中1人) ※総合文化祭表彰式において発表(上中1人)</li> <li>・上富良野町ジュニアリーダー研修 実績なし (新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 中止)</li> <li>・8市町村合同研修実行委員会 実績なし (新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 5人)</li> </ul>

- ・8市町村合同研修 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 中止)

○町民芸術劇場(幼児・小学生の部)

- ・幼児と親子235人 小学生524人 2回開催  
新型コロナウイルス感染対策として、幼児の部3公演、小学生の部4公演実施  
(前年度 幼児の部2公演 271人 小学生の部2公演 557人 2回開催)

○団体活動

- ・子ども会育成協議会 20団体 234人 ジュニアリーダー1団体 1人  
(前年度 25団体 381人 ジュニアリーダー1団体 8人)
- ・子ども会育成協議会補助 300千円(前年度 同額)

○子ども会育成事業

- ・ラジオ体操 97人(前年度 377人)
- ・行灯行列 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 213人)
- ・キャンプ 22人(前年度 24人)
- ・カムカムしちやいな祭 子ども109人 スタッフ29人  
(前年度 子ども244人 スタッフ56人)  
※新型コロナウイルス感染予防対策として、1回の定員を40人とし3回開催
- ・もちつき交流 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 118人)
- ・こども広場 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 580人)  
計257人(前年度 1,612人)

○わくわく合宿(小学4~6年対象) 実績なし

(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 5人)

放 課 後 児 童  
健 全 育 成

○〈放課後クラブ〉放課後児童健全育成事業 20,718千円(前年度 11,386千円)

- ・事業費 17,656千円

	令和2年度			平成31年度		
	日数	延べ	登録	日数	延べ	登録
上富良野 小学校内	293日	11,639人	149人	291日	15,459人	167人

- ・新型コロナウイルス感染防止対策 3,062千円  
(新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金事業、子ども子育て支援交付金  
対象拡充事業)

臨時休校開設報酬増加分、空気洗浄機、アクリルパーテーション、スチーム  
クリーナー、消毒液、マスク等購入

○〈放課後スクール〉放課後子ども教室事業 3,722千円

- ・事業費 3,110千円 (前年度 2,774千円)

	令和2年度			平成31年度		
	日数	延べ	登録数	日数	延べ	登録数
上富良野小学校	188日	2,946人	92人	179日	4,297人	98人
上富良野西小学校	188日	7,809人	89人	178日	6,878人	85人

- ・新型コロナウイルス感染防止対策 612千円 長机20台購入
- ・放課後事業へのボランティア支援  
読み聞かせ会 延べ22人(前年度 延べ43人)

- ・放課後事業保護者説明会 2回 32人(前年度 2回 104人)  
※新型コロナウイルスの感染予防対策のため、対象を新1年生及び新規利用者として実施した。

青少年健全育成

○団体活動支援

- ・青少年健全育成をすすめる会
  - ①青少年健全育成をすすめる会負担金 180千円(前年度 同額)
  - ②なかよしサミット  
実績なし(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 25人)
  - ③イラスト付標語 テーマ「いのち」 51点(前年度 73点)
  - ④機関紙「ほのぼの」の発行 年2回(前年度 同数)
  - ⑤「校外生活のきまり」  
年2回発行 小中高全児童生徒に配布(前年度 同数)

○海外派遣事業 実績なし

(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 アメリカ・ロサンゼルス 11日間 4人(応募:中学生7人 高校生5人) 1,440千円)

青年教育

○団体活動

- ・青少年団体協議会 44人(前年度 43人)
- ・青少年団体協議会活動補助 39千円(前年度 50千円)

○成人式

記念コンサートとして上富良野安政太鼓保存会、東中清流獅子舞保存会と大藏流狂言榎本元氏による演奏、演舞を実施

※例年、保健福祉総合センターかみんで実施していたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、社会教育総合センターアリーナで開催した

- ・新成人該当者169人のうち出席者85人 来賓15人 保護者64人  
(前年度 163人のうち出席者93人 来賓46人 保護者65人)

家庭教育

○学習機会と活動

- ・家庭教育学級開設(高田幼稚園) 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 延べ532人)

内訳	令和2年度	平成31年度
講演会	実績なし	1回 90人
体験学習	実績なし	15人
スポーツ交流会	実績なし	37人
親子レクリエーション	実績なし	390人

- ・育児サークル連絡協議会への家庭教育に関する情報提供 1回(前年度 同数)

P T A 活動

○団体活動

- ・上富良野町P T A連合会 加盟5団体 818人  
(前年度 加盟5団体 842人)  
上富良野町P T A連合会活動補助 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 80千円)
- ・家庭教育にかかる学習支援  
教育講演会 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 45人)

生涯学習推進  
成人教育

- 道民カレッジ連携講座の開設
  - ・いしずえ大学講座（年7回） 実績なし  
（新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 7回 697人）
  - ・公民館講座「天体観望会」を登録し公開 9回 59人(前年度 9回 91人)
- 女性学級 実績なし  
（新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 学生17人 11回）
- 団体活動
  - ・女性連絡協議会 6団体 509人(前年度 6団体 514人)
  - ・女性連絡協議会活動補助 34千円(前年度 50千円)
- セントラルプラザ（中央地区学習等共用施設放送用設備整備） 480千円

高齢者教育

- いしずえ大学では新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し活動を中止とし、令和元年度の卒業証書等授与式のみ実施した。
- 元年度いしずえ大学卒業証書等授与式（令和2年10月15日（木））  
卒業生・終了生 23人出席
  - 学習機会と活動
    - ・いしずえ大学 新型コロナウイルスの影響により中止  
（前年度 年24回 学生113人うち同窓科18人）
    - ・中富良野町銀嶺大学、富良野市ことぶき大学との交流会  
（新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 富良野市開催 83人）
    - ・上川管内高齢者学びのつどいへの参加  
（新型コロナウイルスの影響により中止 前年度 名寄市開催 合唱クラブ13人）
  - 団体活動  
いしずえ大学自治会補助 実績なし(前年度 70千円)

公民館活動

- 学習機会と活動
  - ・公民館講座 延べ91人(前年度 延べ141人)
    - ①天体観望会 59人(前年度 91人)
    - ②イースターパーティ 実績なし  
（新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 25人）
    - ③ハロウィンパーティ 25人(前年度 同数)
    - ④ハーバリウム講習会 1回 7人
  - ・マイプラン・マイスタデイ講座 2講座(前年度 3講座)
    - ①パソコンサークルレインボー「パソコン中級講座」  
4回 延べ29人(前年度 3回 延べ52人)
    - ②作曲に挑戦 8人
- 団体活動  
公民館友の会 23人(前年度 25人)  
※活動資金の一部を図書館用図書に寄贈
- 分館活動  
活動補助 11分館 1,457千円 延べ46事業 889人  
（前年度 11分館 1,468千円 延べ82事業 2,132人）

文化振興

- 芸術文化活動  
総合文化祭 ※新型コロナウイルス感染対策のため会場を分散し実施（社会教育  
総合センター・公民館・かみん）  
4日間 展示数772点 延べ2,485人

(前年度 3日間 展示数1,310点 延べ2,415人)

文化祭事業負担金 300千円(前年度 同額)

○町民芸術劇場 2回 延べ759人(前年度 2回 延べ828人)

・幼児の部(音楽鑑賞) 235人

(新型コロナウイルスの影響により人数制限を実施 公演回数1回増 3回実施)

・小学生の部(演劇鑑賞) 524人

(新型コロナウイルスの影響により人数制限を実施 公演回数2回増 4回実施)

・町民芸術劇場負担金 500千円(前年度 同額)

○自主企画芸術鑑賞事業補助 実績なし

(新型コロナウイルスの影響により申請なし 前年度 190千円 2回 延べ232人)

○文化教室開催事業補助

2団体 延べ36人 30千円(前年度 2団体 延べ40人 21千円)

○団体活動 28団体 245人(前年度 29団体 255人)

文化連盟活動補助 140千円(前年度 同額)

○各種表彰 町表彰式

・文化賞 該当者なし(前年度 該当者なし)

・文化功労賞 1個人(前年度 該当者なし)

・文化奨励賞 7個人(前年度 1団体 4個人)

○富良野広域事業

・北海道舞台塾ふらの事業 実績なし

(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 2日間 延べ304人)

・富良野地区文化団体交流会 実績なし

(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 80人)

○小さな美術館

社会教育総合センターラウンジにおいて作品展示

※自由鑑賞(前年度 実績なし)

・美ふじ会合同展 9日間

・いしずえ大学書道クラブ作品展 12日間

## 図書館運営

○登録者数 6,827人(前年度 6,640人)

○利用者数 13,526人(前年度 17,103人)

○1日平均閲覧者数 49.5人(前年度 63.6人)

○1日平均貸出冊数 208冊(前年度 199.4冊)

○人口1人当り貸出冊数 5.5冊(前年度 5.1冊)

○図書館事業

・読み聞かせ会(ボランティア団体:ムーミンの会、ものがたり文化の会)

①小学校71回

②保育園等54回

③図書館0回(新型コロナウイルスの影響による)

合計125回 4,187人(前年度 合計137回 4,170人)

・ブックスタート(7か月・10か月児相談時に実施) 実績なし

(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 10回 延べ63人)

・読書コンクール 感想文 9点(前年度 634点)

感想画 134点(前年度 237点)

・図書館まつり 1日間 延べ368人(前年度 1日間 延べ376人)

・読書スタンプ帳事業

100冊達成 112人(前年度 98人)

200冊達成 73人(前年度 60人)  
・すくすく絵本事業 96千円(前年度 86千円)  
対象者66人 申込者56人(前年度 対象者72人 申込者50人)

・宅配図書サービス 申込件数 59件 貸出冊数：本547冊 DVD51本  
(コロナ禍で学校が休校、図書館が閉館した期間のうち5月12～31日で実施)  
○蔵書実績 貸出冊数 56,969冊(前年度 53,638冊)  
所蔵数 50,087冊(前年度 49,324冊)  
購入数 1,889冊(前年度 1,820冊)  
寄贈数 232冊(前年度 239冊)  
除籍数 1,358冊(前年度 1,983冊)  
○視聴覚関係 上富良野ライブラリー貸出 617本(前年度 702本)  
※富良野地区ライブラリー貸出 470本(前年度 644本)  
○移動図書活動 12回(前年度 同数)  
上小、上西小、東中小、放課後クラブ、東児童館、西児童館、ケアハウス  
○図書館運営費 10,966千円(前年度 9,588千円)  
・図書購入 2160千円(前年度 2,170千円)  
・図書消毒・滅菌器購入 1,111千円

郷土館および  
開拓記念館事業

○郷土館事業  
・かみふらの10大ニュース 投票数 1,810票(前年度 1,610票)  
・郷土館文化祭特別展(中谷宇吉郎生誕120年記念特別展)  
○団体活動  
・郷土をさぐる会 会員35人 賛助会員158人  
(前年度 会員同数 賛助会員170人)  
・郷土誌等発行補助 50千円(前年度 同額)  
○郷土館(4～10月開館) 140日 295人(前年度 187日 663人)  
・日曜、祝日の臨時開館 25日(前年度 37日)  
・開館支援ボランティア 延べ44人(前年度 延べ71人)  
○開拓記念館(5～10月開館) 84日 299人(前年度 111日 774人)  
・草分住民会に管理委託  
・開館期間中の祝日の臨時開館を実施 5日間(前年度 12日間)

社会教育施設管理

○公民館管理 13,220千円(前年度 12,686千円)  
○公民館分館管理 6,761千円(前年度 4,273千円)  
公民館江幌分館改修工事(屋根外壁塗装) 2,200千円  
○コミュニティ広場管理 1,542千円(前年度 1,520千円)  
○郷土館管理 500千円(前年度 541千円)  
○開拓記念館管理 805千円(前年度 789千円)  
○多世代交流センター管理 2,731千円(前年度 2,284千円)

保健体育費  
スポーツ振興事業

○スポーツ推進委員活動  
活動実績 会議5回 延べ52人(前年度 5回 延べ44人)  
スポーツ行事1回 延べ5人(前年度 4回 延べ28人)  
○各種表彰 表彰式  
・スポーツ賞 該当無し(前年度 該当無し)



- ・スポーツ功労賞 2個人(前年度 1個人)
- ・スポーツ奨励賞 3個人(前年度 13個人 3団体)

#### ○スポーツ教室等の開催

- ・スポーツ教室開催補助 20千円(前年度 112千円)
  - ①インドアゴルフ教室 延べ109人(前年度 延べ84人)
  - ②テニス教室 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 61人)
  - ③銃剣道講習会 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 65人)
  - ④パークゴルフ教室 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 30人)
  - ⑤フロアカーリング教室 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 37人)
  - ⑥ゲートボール教室 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 22人)
- ・主催事業
  - ①B&G水泳技能認定会 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 5回 85人)
  - ②B&Gスポーツ大会北海道大会「水泳の部」 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 9人)
  - ③B&Gスポーツ大会北海道大会「剣道の部」 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 不参加)
  - ④児童水泳記録会 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 19人)
  - ⑤親子水泳教室 4回 36組 延べ72人(前年度 5回 43組 延べ86人)
  - ⑥子ども水泳教室 4回 延べ52人(前年度 6回 延べ95人)

#### ○スポーツ大会等の開催

- ・町民ふれあいスポーツ大会負担金 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止のため 前年度 400千円)
- ・町民スポーツ大会
  - ①アクアキッズフェス 20人(前年度 40人)
  - ②世代間交流ゲートボール大会 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 5チーム 25人)
  - ③住民会対抗ソフトボール大会 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 6住民会 8チーム 110人)
  - ④住民会対抗パークゴルフ大会 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 18住民会 28チーム 132人)
  - ⑤住民会対抗ソフトミニバレー大会 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 14住民会 35チーム 181人)
  - ⑥住民会対抗フロアカーリング大会 実績なし  
(新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 18住民会 40チーム 179人)
  - ⑦町民歩こう会 申込数の不足により事業中止(前年度 15人)
  - ⑧町民玉入れ大会 申込数の不足により事業中止(前年度 14チーム 101人)

	<p>⑨雪合戦大会 実績なし (新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 18 チーム 151 人)</p> <p>⑩町民かんじきツアー 実績なし (新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 中止)</p> <p>⑪歩くスキー体験ツアー 実績なし (新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 中止)</p> <p>・ふらの沿線スポーツフェスタ(共催後援事業)</p> <p>①フロアカーリング(上富良野町) 実績なし (新型コロナウイルスの影響により事業中止 前年度 53 人)</p> <p>②パークゴルフ(富良野市) 新型コロナウイルスの影響により事業中止</p> <p>③フットサル(中富良野町) 新型コロナウイルスの影響により事業中止</p> <p>④ラフティング(南富良野町) 大雨の影響により事業中止</p> <p>⑤ノルディックウォーキング(占冠村) 町外開催参加者 延べ 18 人(前年度 延べ 19 人)</p> <p>○さわやかラジオ体操(支援事業) 77 日間(前年度 184 日間) 社会教育総合センター前 開催なし(前年度 4,315 人) 泉栄防災センター前 開催なし(前年度 2,772 人) 住吉会館前 延べ 2,138 人(前年度 延べ 3,653 人)</p>
指導者養成 派遣事業	<p>○指導者養成事業(派遣事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管内スポーツ推進委員女性委員会南部ブロック研修会 中止(前年度 3 人)</li> <li>北海道スポーツ推進委員研修会 中止(前年度 不参加)</li> <li>青少年スポーツ大会選手参加報奨金 2 団体 8 個人 (前年度 3 団体 個人 56 人)</li> <li>人材派遣事業 実績なし(前年度 実績なし)</li> </ul>
団体育成	<p>○スポーツ協会 18 団体 1,286 人(前年度 19 団体 1,550 人) 協会育成補助 620 千円(前年度 同額)</p> <p>○スポーツ少年団 12 団体 273 人(前年度 13 団体 314 人) スポーツ少年団育成補助 1,100 千円(前年度 同額)</p> <p>○女性スポーツ協議会 5 団体 64 人(前年度 5 団体 56 人) 女性スポーツ協議会育成補助 30 千円(前年度 同額)</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ 8 人(前年度 20 人)</p>
学校開放事業	<p>○学校(4校) 体育館開放事業 72 千円(前年度 同額)</p>
社会体育施設管理	<p>○ゲートボール場管理 253 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイヤレス放送設備【調整交付金事業】 179 千円</li> </ul> <p>○武道館管理 141 千円(前年度 181 千円)</p> <p>○島津球場管理 422 千円(前年度 507 千円)</p> <p>○スキーリフト管理 6,331 千円(前年度 6,298 千円) 圧雪車購入 6,072 千円 ※備荒資金組合資機材譲渡事業利子償還金</p> <p>○社会教育総合センター管理 28,141 千円(前年度 28,006 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関テラス改修 149 千円</li> <li>・暖房配管ラインポンプ取替修理 162 千円</li> <li>・玄関前階段修理 330 千円</li> <li>・集会室系統換気ファン取替 638 千円</li> </ul>

- ・アリーナ天井修理 434 千円
- ・ワイヤレス放送設備【調整交付金事業】 726 千円
- B&G海洋センター管理 7,856 千円(前年度 8,057 千円)
- 洗眼・横水飲み栓取替修理 77 千円
- 運動公園管理 60,818 千円(前年度 2,511 千円)
- ・富原運動公園野球場擁壁補修 704 千円
- ・テニスコート改修工事(人口芝2面整備)【調整交付金事業】 53,878 千円
- パークゴルフ場管理 4,778 千円(前年度 4,821 千円)
- ・ワイヤレス放送設備【調整交付金事業】 179 千円

社会教育職員  
養成研修

- 社会教育主事養成 1 人(前年度 実績なし)
- B&Gアクア・インストラクター養成(2年に1回受講予定)
- 今年度受講無し(前年度 1 人受講)

学習情報の提供

- 学習情報の提供
- 事業、大会、教室等の案内、各施設利用案内、町広報誌掲載、防災無線による行政だより、上富良野ホームページ(生涯学習だより)、新聞(行事案内)

社会教育・体育  
施設利用実績

		令和2年度	平成31年度
○公民館		13,420 人	19,778 人
○公民館分館		5,516 人	10,527 人
○清富多世代交流センター		3,432 人	1,583 人
○中央地区学習等供用施設 (セントラルプラザ2階)		3,055 人	4,362 人
○社会教育総合センター		41,043 人	5,6054 人
内訳	アリーナ	33,591 人	47,295 人
	コミセン	6,008 人	7,190 人
	裏・横広場	1,444 人	1,569 人
○武道館		6,941 人	9,192 人
○富原運動公園		1,501 人	2,913 人
○富原野球場		700 人	1,542 人
○富原テニスコート		1,934 人	3,583 人
○島津球場		1,174 人	1,589 人
○B&G海洋センター		3,330 人	8,751 人
○学校体育館開放		4,104 人	5,864 人
内訳	上小	2,605 人	2,259 人
	上西小	336 人	2,194 人
	東中小	257 人	555 人
	上中	906 人	856 人
○日の出スキー場 (リフト利用者)		62,253 人	50,799 人
○パークゴルフ場		14,034 人	17,994 人
○ゲートボール場		75 人	552 人

# 国民健康保険特別会計事業報告書

## 1 総括

国民皆保険制度の根底を支える国民健康保険事業については、高齢者や低所得者の加入が多くを占めるという中であって、各市町村においては構造的課題を抱え厳しい運営が続いていましたが、平成30年からは都道府県との共同運営となったことから、安定化が図られてきたものの、保険料の統一に向けた課題など流動的な要素も残されているところであります。

令和2年度の事業概要については、加入状況が年度平均で1,414世帯、2,343人（前年度対比8世帯減、73人減）と町民の約4分の1の加入となっています。

受診状況等については、受診率（1年間に100人当たり受診する回数）865.09（同68.19減）、1人当たり費用額27万4,005円（同1万4,278円減）、療養給付における保険者負担分においては、6億731万円（同5,083万円減）となっています。

高額療養費支給の概要については、高額療養費8,955万円（同398万円減）となっています。

医療給付費は減少していますが、前期高齢者の増加に伴い1人当たりの医療費は増加しており、医療費増加を抑制するため、特定健診・特定保健指導を継続実施し、平成30年3月に策定した保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づいた保健事業を推進していきます。

保険給付費の多くを占める糖尿病、循環器系疾患は、若年世代からの生活習慣による生活習慣病の延長にあり、その該当者及び予備軍に対し、生活習慣改善の明確な動機付けができるよう支援し、疾病発症・重症化の予防、医療費適正化に向けた保健事業等を積極的に展開することが重要となります。

## 2 収支の状況

歳入総額は12億9,160万円（同7,068万円減）、歳出総額は12億609万円（同2,745万円減）で、歳入歳出差引額8,551万円（同4,323万円減）となりました。

予算額に対する収入割合は95.6%、調定額に対しては99.6%となっています。

国税の収納状況については、収入未済額は466万円（同97万円増）で、収納率は98.1%（現年度分99.0%、滞納分22.1%）で、前年度より0.5%減少しました。

区 分	令和2年度	平成31年度	増 減	増減率
歳入総額	12億9,160万円	13億6,228万円	△7,068万円	△5.2%
歳出総額	12億609万円	12億3,354万円	△2,745万円	△2.2%
差 引	8,551万円	1億2,874万円	△4,323万円	—

## 3 決算の特徴

### 【歳入】

前年度より7,068万円、5.2%の減少となっています。

増減した主な要因としては、国民健康保険税（同109万円減）、保険給付費等交付金（同6,530万円減）、一般会計繰入金（同1,126万円減）、繰越金（同348万円減）、諸収入（149万円増）などがあげられます。

## 【歳 出】

前年度より 2,745 万円、2.2%の減少となっています。

増減した主な要因としては、保険給付費（同 5,309 万円減）、国民健康保険事業費納付金（同 336 万円減）、特定健康診査等事業費（同 93 万円増）、諸支出金（同 1,954 万円増）などがあげられます。

# 後期高齢者医療特別会計事業報告書

## 1 総括

後期高齢者医療制度は、平成20年4月から75歳以上の方と65歳以上で一定の障害のある方を対象として「老人保健制度」から移行された医療制度であり、都道府県単位ですべての市町村が加入する広域連合が主体となり運営され、北海道後期高齢者医療広域連合では被保険者の認定や保険料額の決定、医療給付などの制度の運営を行い、町は申請や相談などの窓口業務、保険料の徴収業務などを行っています。

北海道後期高齢者医療広域連合の医療費の財源構成は、医療給付費の約1割を保険料、約4割を現役世代からの後期高齢者支援金、残りの5割を国、道、市町村の公費で賄うことになっています。

後期高齢者医療特別会計においては、主に歳入として被保険者からの保険料、一般会計から低所得者にかかる保険基盤安定繰入金を受け、歳出として北海道後期高齢者医療広域連合に負担をしています。

本町の後期高齢者医療制度の被保険者数は、令和3年3月末現在で1,851人（制度開始時の平成20年4月は1,417人）となっており、急速な高齢化が進展し、その対象者数は今後とも増加していくものと考えられます。

## 2 収支の状況

歳入総額は1億6,462万円（前年度比1,789万円増）、歳出総額は1億6,289万円（同1,792万円増）で、歳入歳出差引額174万円（同3万円減）となっています。

予算額に対する収入割合は99.6%、調定額に対しては99.9%となっています。

保険料収納額は1億1,131万円（同1,403万円増）となっており、うち年金からの特別徴収額は7,388万円（同734万円増）となっています。保険料の収納状況については、収入未済額は1千円（同皆増）、収納率は99.9%（同0.1%減）となっています。

区 分	令和2年度	平成31年度	増 減	増減率
歳入総額	1億6,462万円	1億4,673万円	1,789万円	12.2%
歳出総額	1億6,289万円	1億4,497万円	1,792万円	12.4%
差 引	173万円	176万円	△3万円	—

## 3 決算の特徴

### 【歳入】

前年度より1,789万円、前年度比12.2%の増加となっています。

増減した主な要因として、後期高齢者医療保険料（同1,403万円増）、一般会計繰入金（同202万円増）などがあげられます。

### 【歳出】

前年度より1,792万円、前年度比12.4%の増加となっています。

増減した主な要因として、後期高齢者医療広域連合納付金（同1,560万円増）があげられます。

# 介護保険特別会計事業報告書

## 1 総括

介護保険制度は、平成12年に高齢者人口の増加と高齢者医療の高騰対策として発足し20年が経過しました。制度本来の理念である自立支援を実現するため3年ごとに高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を見直しています。

令和2年度は第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画実施の最終年で、これまでの課題・評価や介護保険制度の改正内容を踏まえつつ、令和3年度から3年間を計画期間とする第8期計画を策定しました。

第7期計画においては、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」「在宅介護実態調査」「介護・医療サービス事業者調査」の実施や地域ケア会議における地域課題を抽出し、高齢者のニーズ等の把握、サービス事業所の課題等を整理し、第6期計画の基本理念を継承した中で、在宅福祉を進めるための各種事業を進め、団塊の世代が後期高齢を迎える2025年の超高齢社会を見据えて、「地域包括ケアシステム」を推進してきたところであります。次期計画においても引き続きこれらを推進するほか、「団塊ジュニア世代」が65歳以上となる2040年を見据え、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、最期まで尊厳を持って自分らしい生活を送ることができる社会の実現を目指します。

また、介護を必要とする高齢者が増加していることから、地域包括支援センターにおける総合相談が2,076件あり、今後においても相談件数は増加していくものと思われます。高齢者の様々なニーズに対し適宜相談に応じ適切なサービスに繋げ、総合事業のほか「地域支援事業」などを幅広く実践するためには地域包括支援センターの体制強化が求められています。

介護保険事業の状況は要介護（要支援）認定者数が年々増加し、令和2年度末の要介護（要支援）認定者数は496人(前年度対比10人増)となっています。

### ○高齢化の状況

区 分	令和2年度末	平成31年度末	増 減
総 人 口	10,380 人	10,518 人	△138 人
前期高齢者（65～74 歳）	1,558 人	1,576 人	△18 人
後期高齢者（75 歳以上）	1,857 人	1,860 人	△3 人
合 計	3,415 人	3,436 人	△21 人
高 齢 化 率	32.9%	32.7%	0.2%

### ○要介護等認定の状況

区 分	令和2年度末		平成31年度末		増減	増減率
	人数	比率	人数	比率		
要支援1～要介護2	307 人	61.9%	289 人	59.4%	18 人	6.2%
要介護3～要介護5	189 人	38.1%	197 人	40.6%	△8 人	△4.1%
合 計	496 人		486 人		10 人	2.1%

○保険給付費の状況

区 分	令和2年度	平成31年度	増減額
居宅サービス費	3億683万円	2億9,666万円	1,017万円
地域密着型サービス費	1億5,775万円	1億4,431万円	1,344万円
施設サービス費	3億6,696万円	3億3,321万円	3,375万円
小 計	8億3,154万円	7億7,418万円	5,736万円
特定入所者介護サービス費	3,691万円	3,361万円	330万円
高額サービス費等	2,325万円	1,955万円	370万円
審査支払手数料	62万円	63万円	△1万円
小 計	6,078万円	5,379万円	699万円
合 計	8億9,232万円	8億2,797万円	6,435万円

## 2 収支の状況

歳入総額は10億6,844万円(同7,096万円増)、歳出総額は、10億1,411万円(同8,488万円増)で、歳入歳出差引額は5,433万円(同1,392万円減)になりました。

予算額に対する収入割合は100.9%、調定額に対しては99.9%となっています。保険料収納額は1億8,209万円(同511万円減)で、収入未済額は7,800円(同皆増)、収納率は99.9%で(同0.1%減)となっています。

区 分	令和2年度	平成31年度	増減額	増減率
歳入総額	10億6,844万円	9億9,748万円	7,096万円	7.1%
歳出総額	10億1,411万円	9億2,923万円	8,488万円	9.1%
差 引	5,433万円	6,825万円	△1,392万円	△20.4%

## 3 決算の特徴

### 【歳入】

前年度より7,096万円、7.1%の増となっています。

増減した主な要因としては、国・道からの介護給付費(同2,792万円増)、地域支援事業(同233万7千円増)などがあげられます。

### 【歳出】

前年度より8,488万円、9.1%の増となっています。

増減した主な要因としては、介護サービス等給付費(同5,749万円増)、特定入所者介護サービス費(同331万円増)などがあげられます。



#### 4 事業の成果等

##### ●介護予防・日常生活支援総合事業

区 分		令和2年度	平成31年度
従来型	通所型サービス	701万円 (247件)	729万円 (261件)
	訪問型サービス	409万円 (230件)	384万円 (205件)
独自サービス	通所型サービス (生きがいサービス)	599万円 (1,504人)	679万円 (1,550人)
	通所型サービス (お元気かい・健幸かい)	108万円 (636人)	113万円 (908人)
	訪問型サービスB	92万円 (8人)	56万円 (3人)

##### ●一般介護予防事業

- 介護予防学習会（老人クラブ等） 2回 30人(前年度 3回 41人)
- 認知症普及啓発活動 認知症カフェ開催補助 10回 20万円(前年度 11回 22万円)  
認知症講演会の開催 50人(前年度 98人)
- 認知症サポーター養成研修 1回 18人(前年度 1回 28人)
- 介護予防地域活動支援事業補助（新規） 1団体 26万2千円
- 介護予防普及啓発活動補助  
リーダー育成事業 1回 10万4千円(前年度 1回 6万円)
- いきいき筋肉体操教室 5回 40人(前年度 1回 22人)

##### ●包括的支援事業 2,539万円(前年度 2,327万円)

- 総合相談人数 延べ2,076人(前年度 1,732人)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
相談件数	1,559件	1,597件	1,732件	2,076件

- 権利擁護相談件数 虐待 2件(前年度 7件) 成年後見 0件(前年度 1件)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
虐待（相談）	0件	4件	7件	2件
成年後見	13件	19件	1件	0件

- 地域ケア会議の開催

各専門分野における研究、連携、検討会を実施。

- ・全体会 2回（5・11月）(前年度 同数)
- ・認知症支援部会 4回（7～3月）(前年度 3回)
- ・医療介護連携部会 4回（6～3月）(前年度 同数)
- ・ケアマネジメント部会 4回（6～3月）(前年度 同数)

- 徘徊高齢者等検索ネットワーク会議の開催 2回(前年度 同数)  
登録者数 15人(前年度 14人)

- 高齢者実態調査の実施（5月1日基準日）

調査高齢者 3,191人（令和2年度より町内施設入居者については調査対象より除外、他市町村の滞在者含む）(前年度 3,304人)

※例年は5～6月にて調査を実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年度については7～8月に実施。

### ●認知症総合支援事業

認知症初期集中支援チーム

(上富良野町立病院 医師、看護師及び地域包括支援センター) 実績なし(前年度 実績なし)

### ●任意事業

○生活管理指導短期宿泊事業

3万3千円 2回 6日間(前年度 2万円 1回 4日間)

○介護給付適正化事業(介護プラン点検)

34万8千円 ケアプラン点検4件 講師3名 6事業所 19名

※介護事業所向け講演を含め2日間で実施

(前年度 同額 ケアプラン点検同数 講師同数 4事業所 13名)

○権利擁護センター事業

令和2年6月1日から社会福祉協議会へ委託し事業開始。

委託料278万円

○相談支援件数 7件(高齢5件 障害2件)

### ●指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

○計画作成件数 105件うち委託79件(前年度 188件うち委託94件)

○基本チェックリストの実施 59件(前年度 52件)

### ●生活支援体制整備事業

令和2年4月1日から社会福祉協議会へ委託し事業開始。

委託料480万4千円

○おたすけサポーター数 18人

○おたすけサポーター活動事業利用件数 67件

### ●上乘せサービス

○保険給付外上乘せサービス 実績なし(前年度 実績なし)

### ●介護保険事業運営協議会・地域包括支援センター運営協議会

○10人 5回 5万円(前年度 同数 3回 同額)

# ラベンダーハイツ事業特別会計事業報告書

## 1 総括

ラベンダーハイツ事業については、地域の中で安心して生活できる老人福祉施設の拠点として介護保険制度を踏まえながら、利用者へのきめ細やかでぬくもりのあるサービスを提供するとともに、在宅福祉施設として地域ボランティアの協力を得ながら、健康管理と生きがいのある日常生活に向け、施設運営に努めているところです。

施設・設備等については、開設後37年が経過し老朽化が見られる中、施設全体の中で緊急を要するものを最優先に改修を行い、計画的に整備を図ってきています。今年度は、温水暖房機3基の更新、特殊浴槽や簡易陰圧装置等の介護用備品整備を実施してきました。

利用状況は、特養においては、多くの入院者が発生した月もありましたが、年間を通して定員50名の満床利用を維持することで、目標に近い結果となりました。ショートステイは、4～5月に新型コロナウイルス感染症対策として利用休止とし、利用再開後も低調で推移したため、目標を下回る結果となりました。デイサービスセンターにおいても、4～5月は感染症対策として一部利用制限を実施したことから、目標数値を下回る結果となりました。

### ○日平均施設利用人員

区分	平成30年度		平成31年度		令和2年度	
	目標	利用実績	目標	利用実績	目標	利用実績
特養	48.0人	40.5人	46.0人	43.2人	48.0人	47.4人
ショートステイ	6.0人	3.9人	4.0人	4.8人	5.0人	3.2人
デイサービス	15.5人	15.5人	16.5人	16.0人	18.0人	15.8人

経営状況は、平成30年度から、経営安定化対策として一般会計から一定の繰り入れを行いながら、効率的な運営と経営の安定化を図っているところです。また介護職員の新規採用など介護体制の安定化に努めながら、新たな入所者の受け入れを図り、収入の確保に取り組んでいるところです。

## 2 収支の状況

歳入総額は3億4,310万円（前年度対比1,186万円増）、歳出総額は3億3,517万円（同903万円増）で、歳入歳出差引額793万円（同283万円増）となりました。

予算額に対する収入割合は97.4%、調定額に対しては100%となっています。

歳入については、経営安定化対策分含め5,601万円を一般会計からの繰り入れを行いました。予算に対する収入割合は、96.5%、調定額に対しては100%となっています。

区分	令和2年度	平成31年度	増減額	増減率
歳入総額	3億4,310万円	3億3,124万円	1,186万円	3.6%
歳出総額	3億3,517万円	3億2,614万円	903万円	2.8%
差引	793万円	510万円	283万円	—

### 3 決算の特徴

#### 【歳入】

前年度より 1,186 万円、3.6%の増となっています。

増減した主な要因としては、サービス収入（同 1,028 万円増）、繰越金（同 394 万円増）、道支出金（同 453 万円増）、国庫支出金（同 433 万円減）、一般会計繰入金（同 257 万円減）などがあげられます。

（参考内訳 新型コロナウイルス感染症対策関連 同補助金）

- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金 401 万円
- ・介護サービス提供基盤等整備事業補助金（簡易陰圧装置整備） 59 万円

#### 【歳出】

前年度より 903 万円、2.8%の増となっています。

増減した主な要因としては、職員人件費（同 377 万円増）、職員手当等（同 423 万円増）、需用費（消耗品）（同 398 万円増）、備品購入費（同 108 万円増）、償還金（同 332 万円減）があげられます。

# 簡易水道事業特別会計事業報告書

## 1 総括

簡易水道事業は、昭和 53 年度東中地区に給水を開始し、昭和 63 年度里仁地区(平成 9 年度西部地区と改称)、平成 12 年度江花地区にも給水区域を拡大し良質な水道水を供給しています。

各地区とも給水を開始してから一定の期間を経過していることから、施設の維持管理に努めてまいります

## 2 使用状況

簡易水道の使用状況は給水戸数 345 戸(前年度対比 4 戸増)、有収水量 79,097 m<sup>3</sup>(同 3,784 m<sup>3</sup>減)であり、使用水量は減少しています。

(単位：戸、m<sup>3</sup>)

区 分	平成 30 年度		平成 31 年度		令和 2 年度	
	給水戸数	有収水量	給水戸数	有収水量	給水戸数	有収水量
東中地区	183 戸	44,734 m <sup>3</sup>	185 戸	44,939 m <sup>3</sup>	186 戸	45,327 m <sup>3</sup>
西部地区	109 戸	25,487 m <sup>3</sup>	114 戸	27,353 m <sup>3</sup>	117 戸	24,407 m <sup>3</sup>
江花地区	41 戸	9,927 m <sup>3</sup>	42 戸	10,589 m <sup>3</sup>	42 戸	9,363 m <sup>3</sup>
計	333 戸	80,148 m <sup>3</sup>	341 戸	82,881 m <sup>3</sup>	345 戸	79,097 m <sup>3</sup>

## 3 収支の状況

歳入総額は 1 億 2,055 万円(同 4,336 万円増)、歳出総額は 1 億 1,862 万円(同 4,327 万円増)で、歳入歳出差引額 193 万円(同 9 万円増)となりました。

予算額に対する収入割合は 100.2%、調定額に対しては 99.9%となっています。

収入未済額は、水道使用料の 1 万円(前年度同額)です。

水道使用料の収納率は 99.9%となっています。

区 分	令和 2 年度	平成 3 1 年度	増減額	増減率
歳入総額	1 億 2,055 万円	7,719 万円	4,336 万円	56.2%
歳出総額	1 億 1,862 万円	7,535 万円	4,327 万円	57.4%
差 引	193 万円	184 万円	9 万円	—

※端数整理により収支差引額は整合しない

## 4 決算の特徴

### 【歳入】

前年度より 4,336 万円、56.2%の増となっています。

増減した主な要因としては、町債(同 3,900 万円増)、一般会計繰入金(同 424 万円増)、雑入(水道管移設補償金(同 83 万円増)、消費税還付金(同 75 万円 皆減)があげられます。水道使用料は、使用水量の減少により、54 万円の減となっています。

## 【歳 出】

前年度より 4,327 万円、57.4%の増となっています。

増加した主な要因としては、江花浄水場電気計装設備更新工事等の工事請負費（同 3,892 万円増）、地方公営企業法適用基本計画策定支援業務等の委託料（同 332 万円増）、消費税（同 102 万円皆増）、備品（量水器）購入費（同 87 万円増）、起債償還元金（同 67 万円増）、需用費（同 158 万円減）、起債償還利子（同 67 万円減）があげられます。

# 公共下水道事業特別会計事業報告書

## 1 総括

健康で快適な生活環境づくりと公共水域の水質保全を図ることを目的として、昭和 57 年度から事業着手し平成 3 年 7 月に供用を開始した公共下水道事業は、管渠整備については平成 17 年度をもってほぼ完了し、令和 2 年度末での整備率（対全体計画）は 83.3%、普及率は 82.3% であり、適正な維持管理が主な事業となっています。

下水道施設の要である浄化センターについては、主要施設が供用から 29 年が経過し、老朽化が進んでいることから、長寿命化計画による設備更新を実施し、安定的な施設運営を図るとともに事業費の平準化や包括的維持管理業務委託の検証をしながら経費の抑制、効率的な執行に努めました。

経営状況については、有収水量 1<sup>m</sup>あたりの使用料収入 171.7 円（前年度対比 5.1%増）に対し、有収水量 1<sup>m</sup>あたりの汚水処理費は 355.8 円（同 3.0%増）で、汚水処理費回収率は 48.2%（同 1.9%増）と厳しい状況にあります。汚水処理費を全て使用料で賄うことは現時点では困難ではありますが、独立採算制の原則に基づき、経費の効果的な執行および健全な運営財源確保に向け、施設利用率を高めるため水洗化率（令和 2 年度末現在 91.2%）の向上等の企業努力を続けると共に、資本費平準化債などの財政措置を繰り込みながら、今後も受益者負担の原則に基づき、段階的に使用料水準の適正化を図り、下水道事業経営の安定化を推進してまいります。

## 2 収支の状況

歳入総額は 3 億 7,582 万円（同 119 万円減）、歳出総額は 3 億 7,092 万円（同 230 万円減）で、実質収支額では 491 万円（同 112 万 1 千円増）となりました。

予算額に対する収入割合は 100.2%、調定額に対しては 99.8%となっています。

収入未済額は、下水道使用料の 63 万円（同 10 万円減）です。

収納率は、受益者負担金及び分担金 100%（現年度分 100%）、下水道使用料 99.5%（現年度分 99.5%、滞納繰越分 92.9%）となっています。

不納欠損処分は、下水道使用料 3 万円（同 2 万円増）となっています。

区 分	令和 2 年度	平成 3 1 年度	増減額	増減率
歳入総額	3 億 7,582 万円	3 億 7,701 万円	△119 万円	△0.3%
歳出総額	3 億 7,092 万円	3 億 7,322 万円	△230 万円	△0.6%
差 引	490 万円	379 万円	111 万円	—

※端数整理により収支差引額は整合しない

## 3 決算の特徴

### 【歳入】

前年度より 119 万円、0.3%の減となっています。

増減した主な要因としては、町債（同 1,720 万円減）、一般会計繰入金（同 123 万円減）、下水道使用料及び手数料（同 549 万円増）、建設事業費の年次事業量の変動に伴う国庫支出金（同 1,096 万円増）があげられます。

## 【歳 出】

前年度より 230 万円、0.6%の減となっています。

増減した主な要因としては、企業債償還金の元金（同 2,687 万円減）、企業債償還金の利子（同 403 万円減）、建設事業費（同 2,076 万円増）、浄化センター等施設管理費（同 365 万円増）があげられます。

公債費については、元金と利息を合わせて 2 億 1,305 万円（同 3,090 万円減）となり、今後は減少傾向になります。